

北陸の米生産を知る

平成の米

石川県

From 1989
to 2018

北陸農政局統計部



石川県珠洲市

北陸農政局ホームページ中の統計情報に掲載しています。

【<https://www.maff.go.jp/hokuriku/stat/>】

令和2年8月

農林水産省

概要編

1	水稲収穫量の推移（石川県）平成元年産～30年産	1
2	水稲の作柄概況（石川県）平成元年産～30年産	2
3	農林業センサスにおける過去1年間に稲を作った田のある 農業経営体数と作付面積規模別割合（石川県）	32
4-1	米の経済状況（生産コストと収益）の推移（石川県）	33
4-2	米の経済状況（作付面積規模別の生産コストと収益） の比較（全国）	34
5	米の産出額の推移（石川県）	35

作柄表示地帯とは、地域行政上必要な水稻の作柄を表示する区域として、県内を水稻の生産力（地形、気象、栽培品種等）により分割したものである。

作柄表示区分		所属する県及び市町村名（令和2年3月31日現在）
全国農業地域	北陸	新潟県、富山県、石川県、福井県
区分	作柄表示地帯	包 括 市 町 村
石川県内の水稻の作柄表示地帯	加賀	金沢市、小松市、加賀市、かほく市、白山市、能美市、川北町、野々市市、津幡町、内灘町
	能登	七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町

用語の解説

田植最盛期、出穂最盛期及び刈取最盛期

田植え、出穂済みの面積割合及び刈取済面積割合がそれぞれ50%に達した期日である。

作柄の表示区分

「良」が平年対比106%以上、「やや良」が同105～102%、「平年並み」が同101～99%、「やや不良」が同98～95%、「不良」が同94%以下である。

「穂数の多少」、「1穂当たりもみ数の多少」、「全もみ数の多少」、「登熟の良否」に用いた表示区分

「多い（良）」が平年対比106%以上、「やや多い（やや良）」が同105～102%、「平年並み」が同101～99%、「やや少ない（やや不良）」が同98～95%、「少ない（不良）」が同94%以下である。

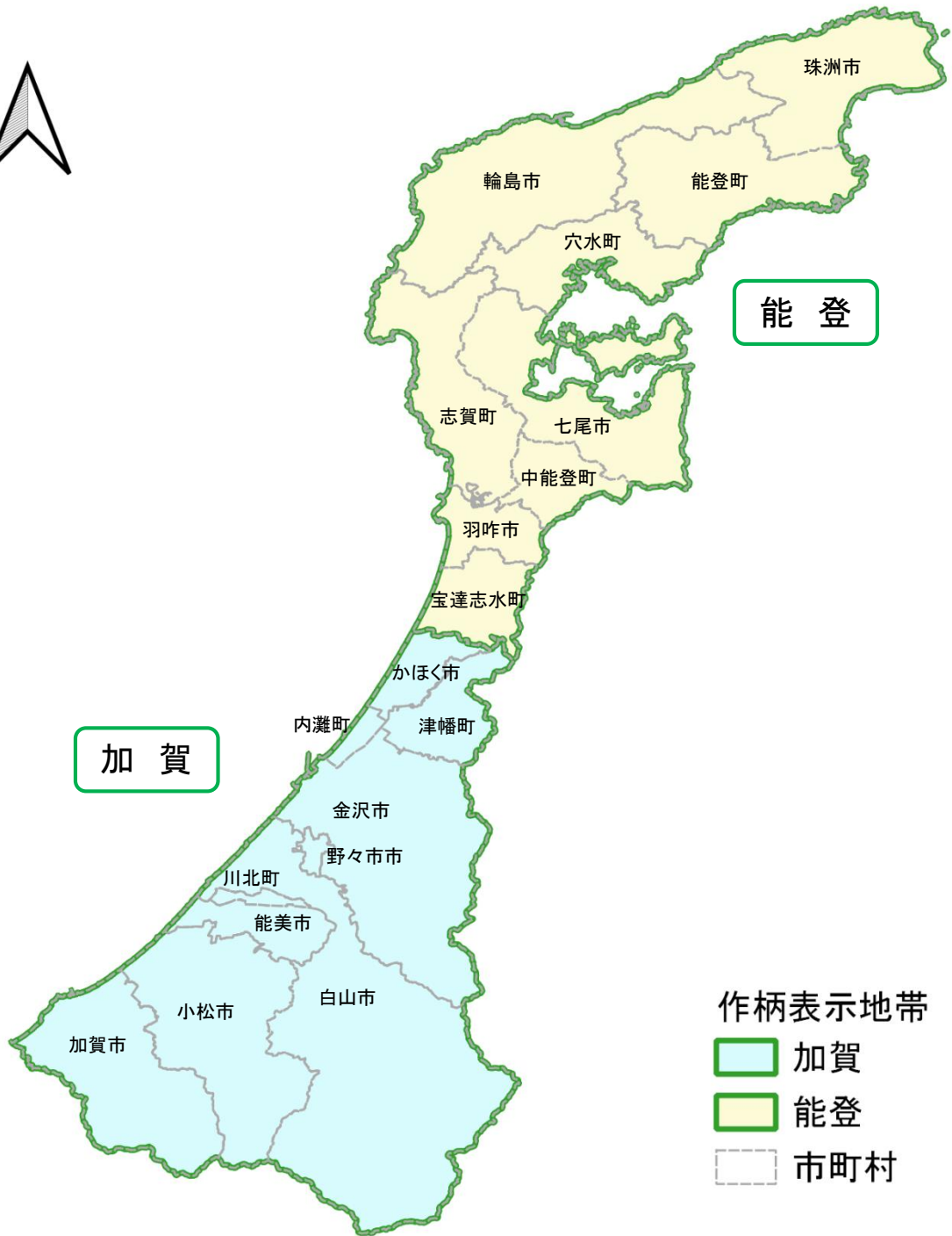
作況指数

作柄の良否を表す指標のことをいい、10a当たり平年収量に対する10a当たり収量（又は予想収量）の比率をいう。
 なお、平成26年産以前の作況指数は1.70mmのふるい目幅で選別された玄米を基に算出していたが、平成27年産からは全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅（北陸は1.85mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

全算入生産費
 （資本利子・地代全額算入生産費）

米の生産に要した材料、土地改良及び水利費、賃借料及び料金、物件税及び公課諸負担、固定資産の減価償却費、労働費の費用合計から副産物価額を控除し、支払利子、支払地代、自己資本利子及び自作地地代を加算した額である。

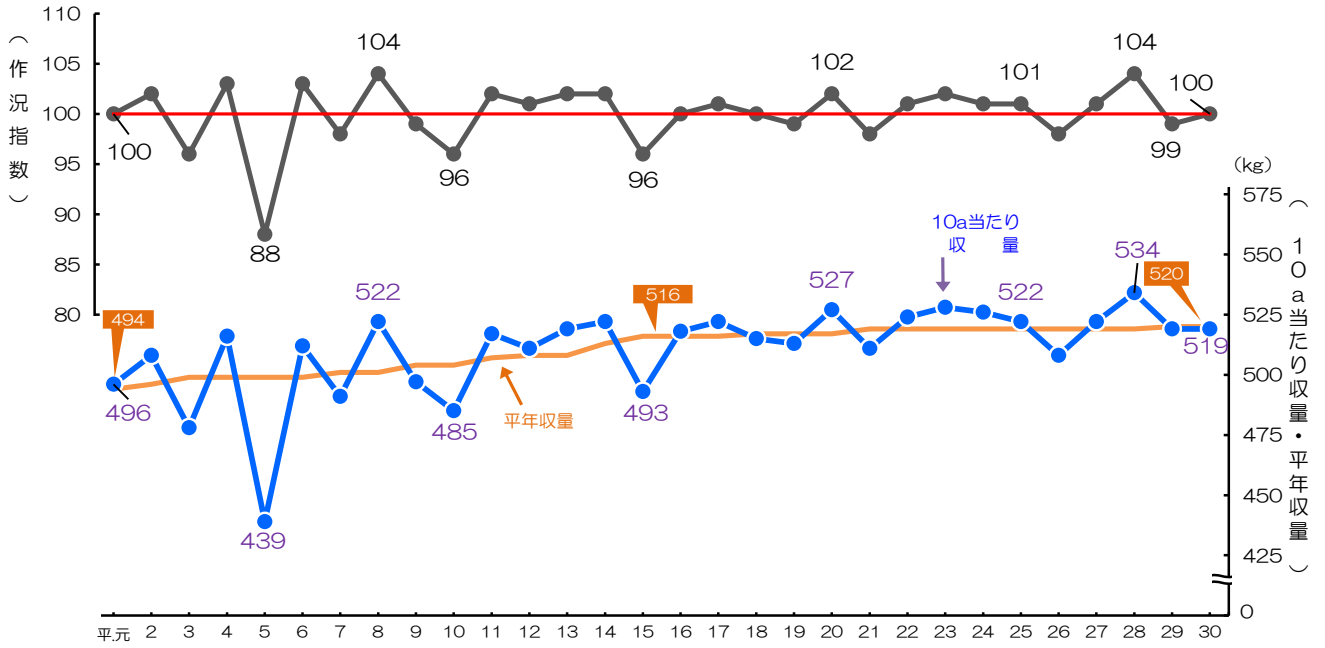
【参考】石川県市町村区分図



1 水稻収穫量の推移(石川県)

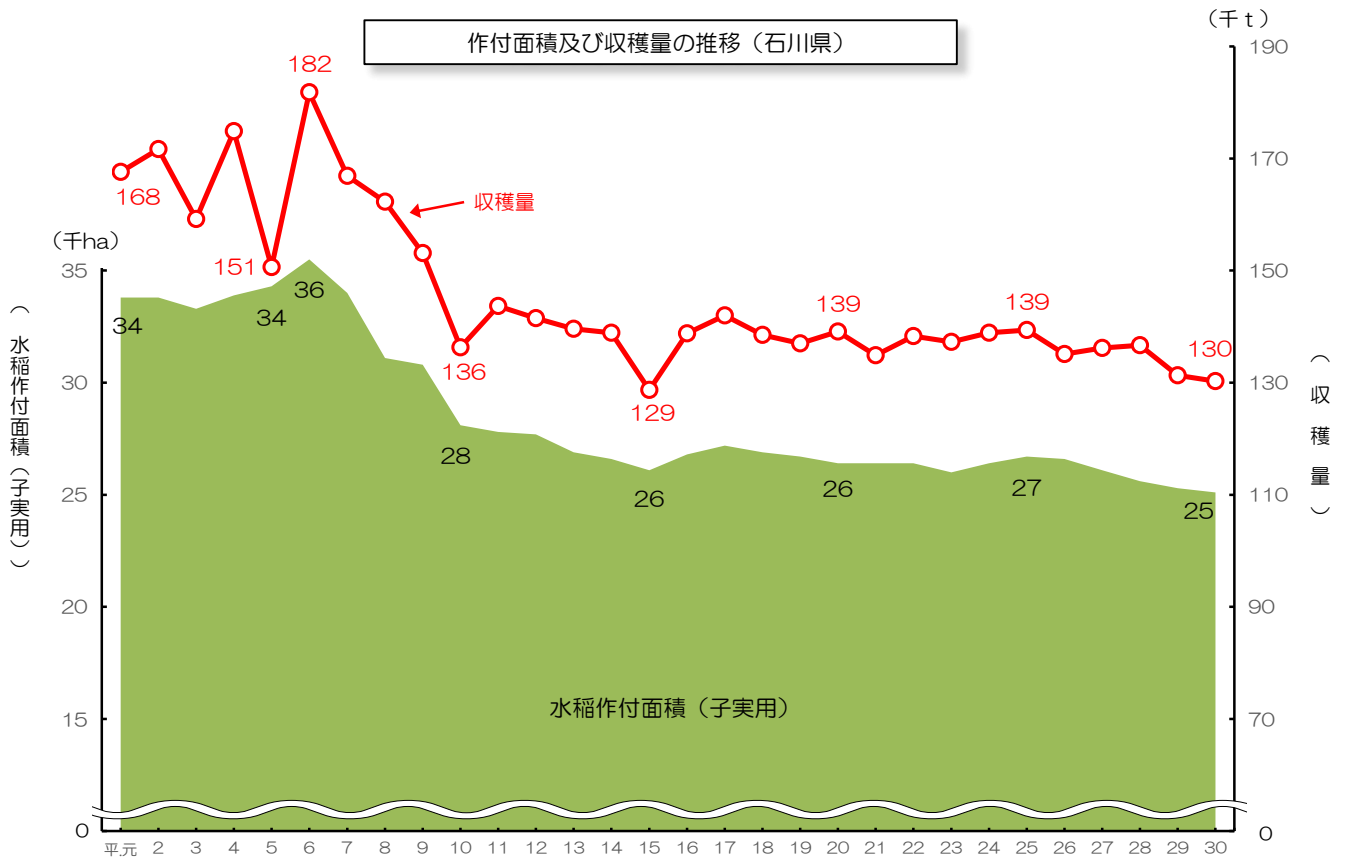
平成元年産からの水稻生産の推移

作況指数、10a当たり収量及び平年収量の推移(石川県)



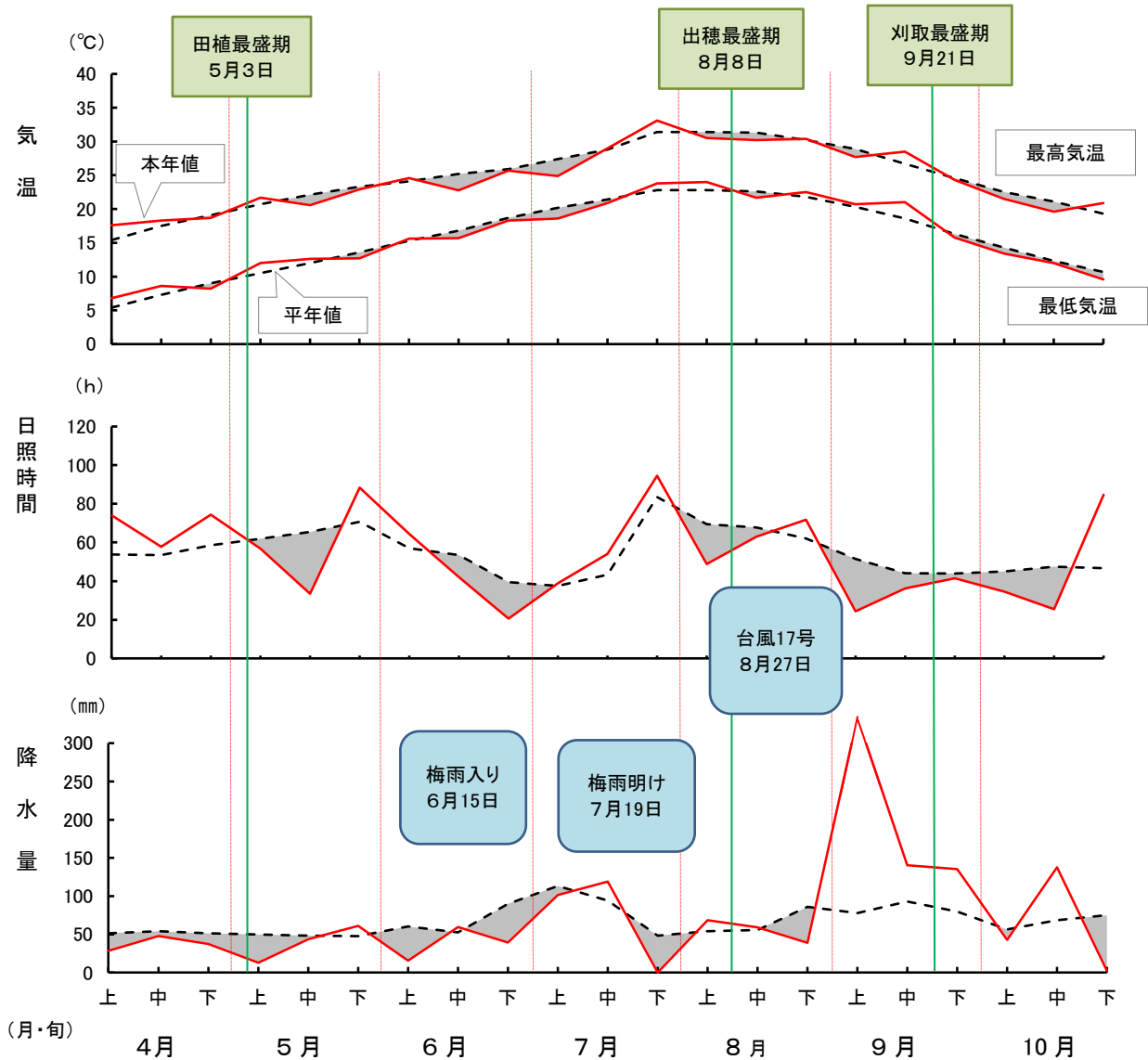
注：平成27年産から農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数となった。

作付面積及び収穫量の推移(石川県)



資料：農林水産省「作物統計」

気象図 金沢地方气象台(金沢観測点)



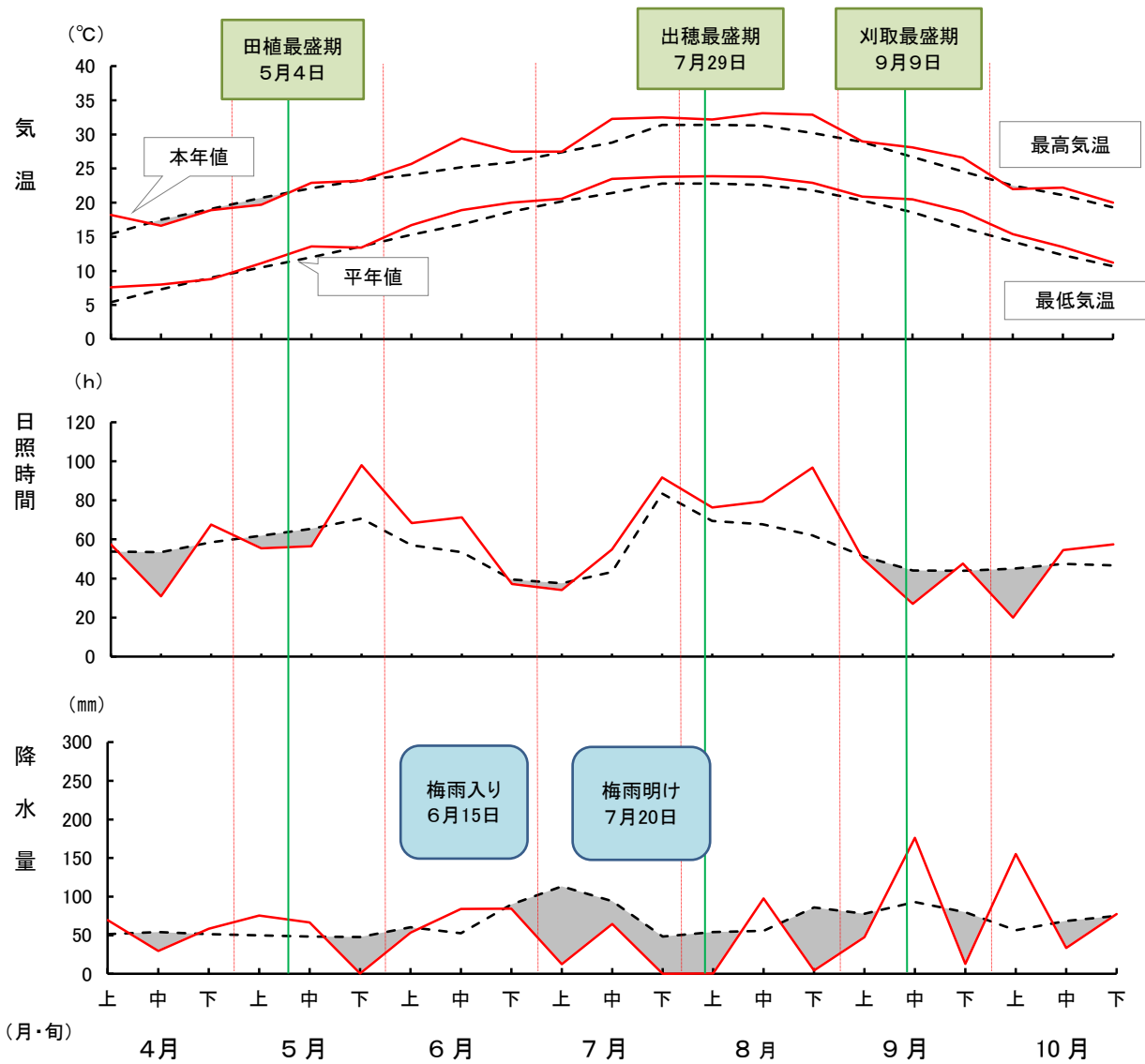
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	政府買入価格 (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
石川	33,800	496	167,600	16,743
加賀	18,600	523	97,300	
能登	15,200	464	70,500	

注: 政府買入価格(生産者手取価格)は、うち1~5類・1~2等の平均包装込価格である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	石川	102	101	100
加賀	103	101	100	100
能登	102	102	101	101

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	石川	やや少ない	多い	多い
穂数は5月中旬及び6月中・下旬の低温・日照不足によりやや少なくなったものの、1穂当たりもみ数が多くなったことから、全もみ数は多くなった。 登熟は日照が少なかったことからやや不良となり、作柄は作況指数100となった。				

気象図 金沢地方气象台(金沢観測点)



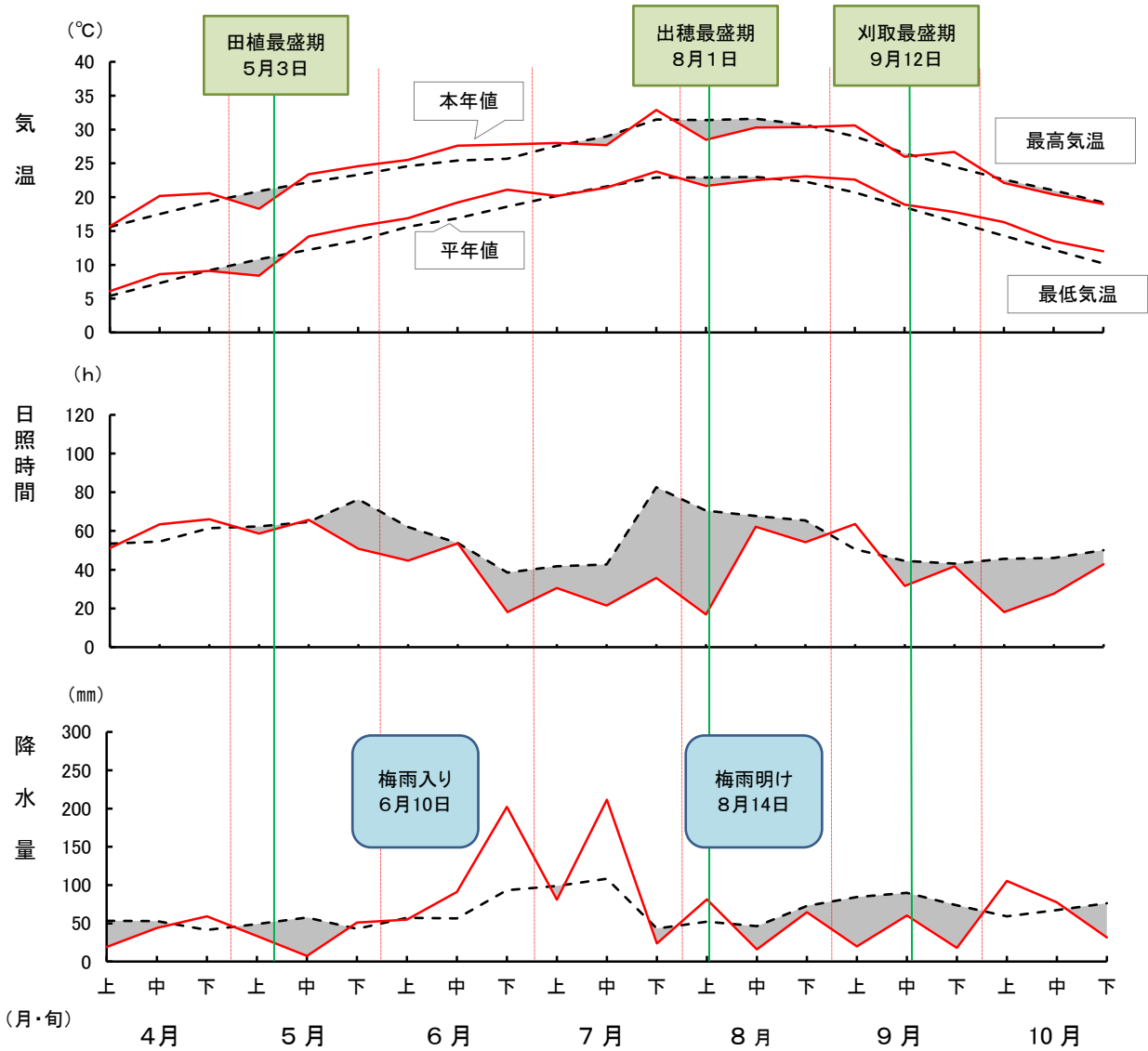
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	石川コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
石川	33,800	508	171,700	22,452
加賀	18,600	532	99,000	
能登	15,200	478	72,700	

注: 石川コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	石川	102	102	102
加賀	102	102	102	102
能登	102	103	103	103

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	石川	少ない	多い	平年並み
穂数は6月上旬以降が高温であったことから分けつの切り上がり及早まり少なくなったものの、1穂当たりもみ数が多くなったことから、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は出穂後が高温・多照で経過したことからやや良となり、作柄は作況指数102となった。				

気象図 金沢地方気象台(金沢観測点)



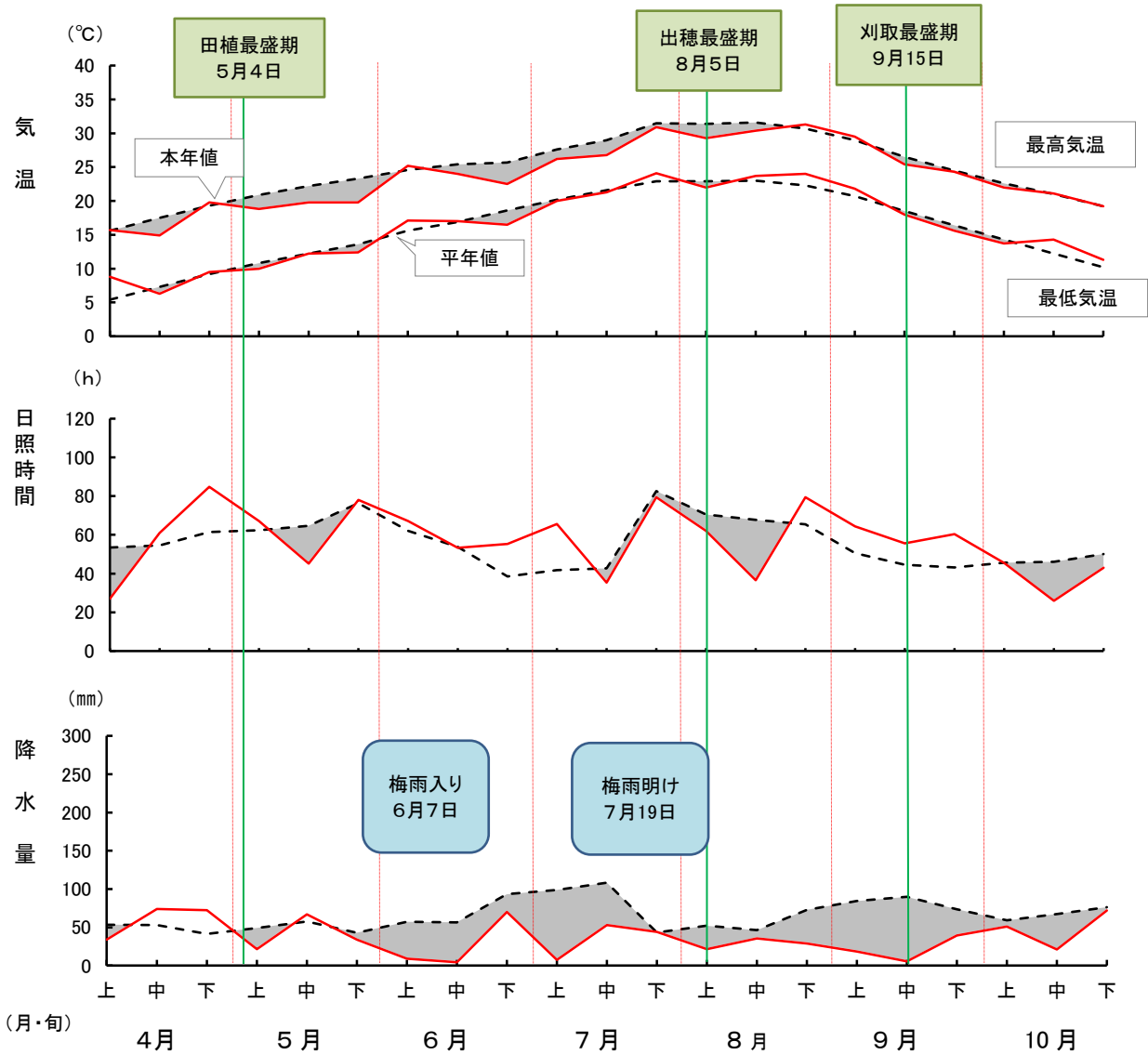
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	石川コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
石川	33,300	478	159,200	23,251円
加賀	18,400	497	91,400	
能登	14,900	454	67,800	

注:石川コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	石川	96	96	96
加賀	95	95	95	95
能登	96	97	97	97

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	石川	少ない	やや多い	やや少ない
穂数は田植後の日照が少なかったことから少なく、1穂当たりもみ数はやや多くなったものの、全もみ数はやや少なくなった。 登熟は平年並みとなり、作柄は作況指数96となった。				

気象図 金沢地方気象台(金沢観測点)



指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	石川コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
石川	33,900	516	174,900	22,505
加賀	18,800	543	102,200	
能登	15,100	483	72,900	

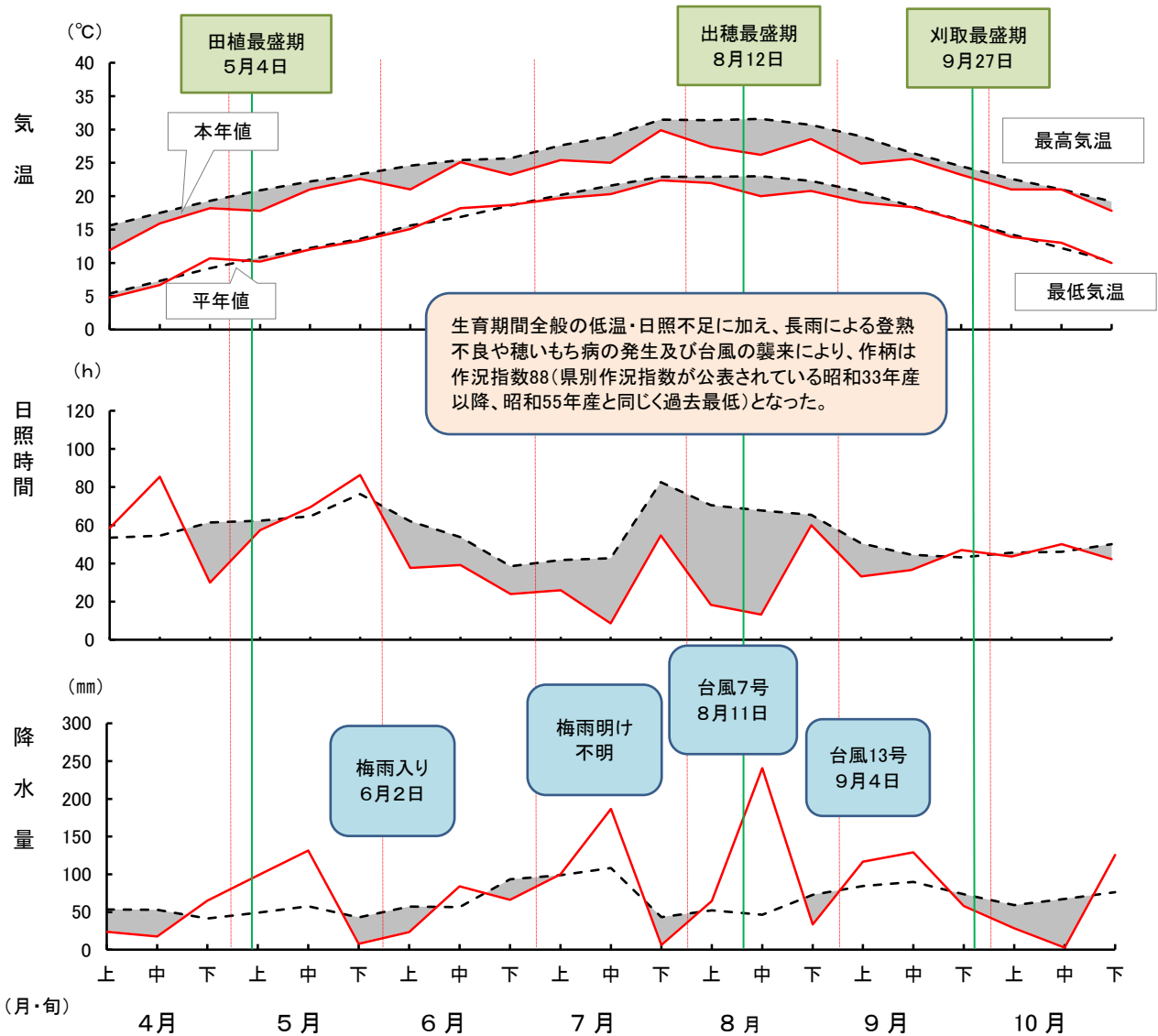
注:石川コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	石川	101	103	103
加賀	101	103	103	103
能登	102	103	103	103

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	石川	平年並み	平年並み	やや多い

穂数及び1穂当たりもみ数は生育期間を通して低温であったものの、おおむね日照が確保されたことから平年並みとなり、全もみ数はやや多くなった。
登熟は8月下旬以降の多照によりやや良となったことから、作柄は作況指数103となった。

気象図 金沢地方气象台(金沢観測点)



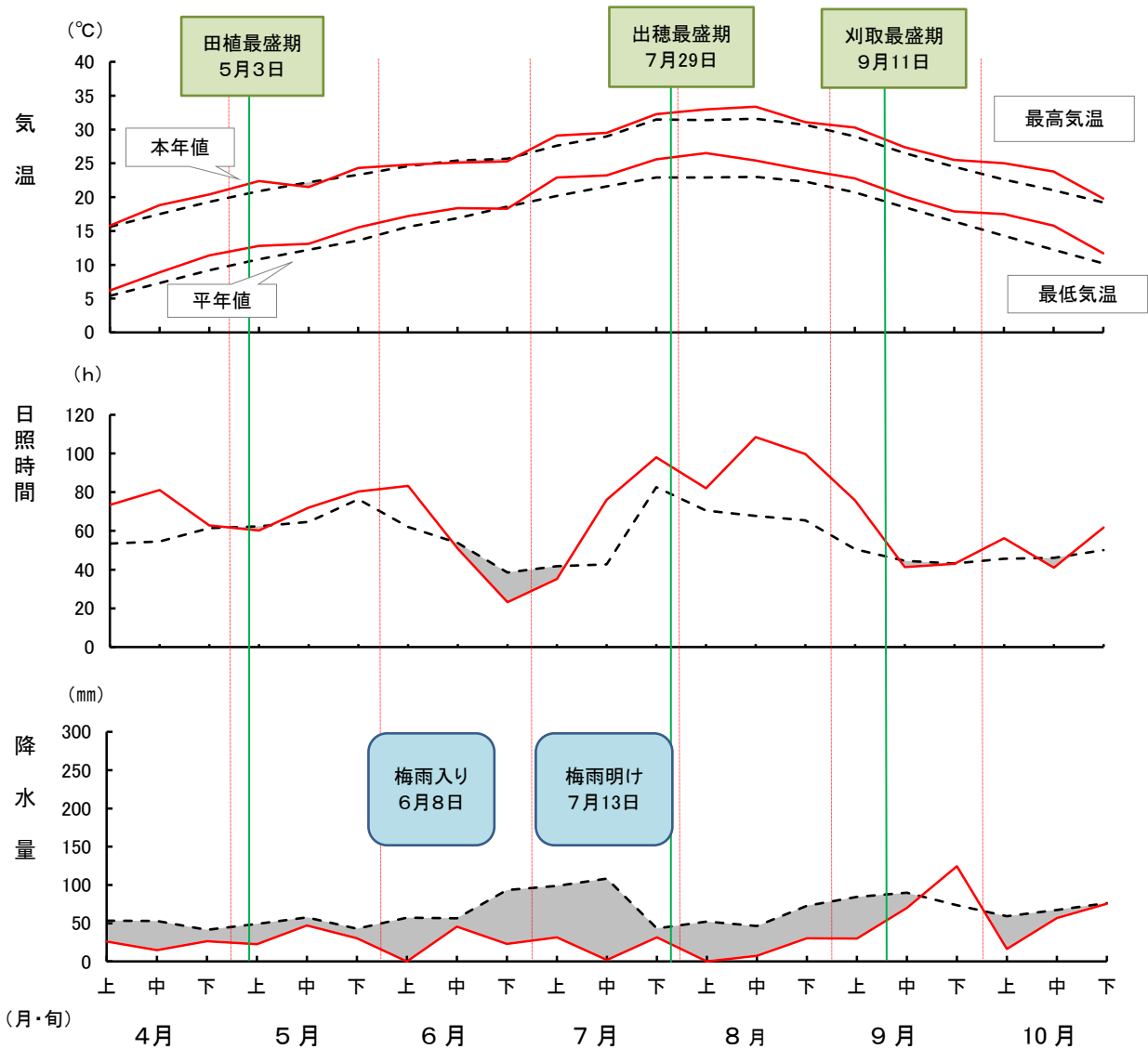
指 標	石川	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	石川コシヒカリ(60kg当たり)単価
		ha	kg	t	円
	石川	34,300	439	150,600	23,877
	加賀	19,100	462	88,200	
	能登	15,200	410	62,500	

注: 石川コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	石川	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
		石川	97	91	88
	加賀	96	89	88	88
	能登	97	92	88	88

作柄概況	石川	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
		少ない	多い	平年並み	不良
	石川	穂数は6月以降の低温・日照不足により少なくなったものの、1穂当たりもみ数が穂数減少の補償作用により多く、全もみ数は平年並みとなった。			
	石川	登熟は出穂期の大幅な遅れ、生育期間全般の低温・日照不足、台風による不稔・倒伏被害や穂いもち病の多発により不良となったことから、作柄は作況指数88となった。			

気象図 金沢地方气象台(金沢観測点)



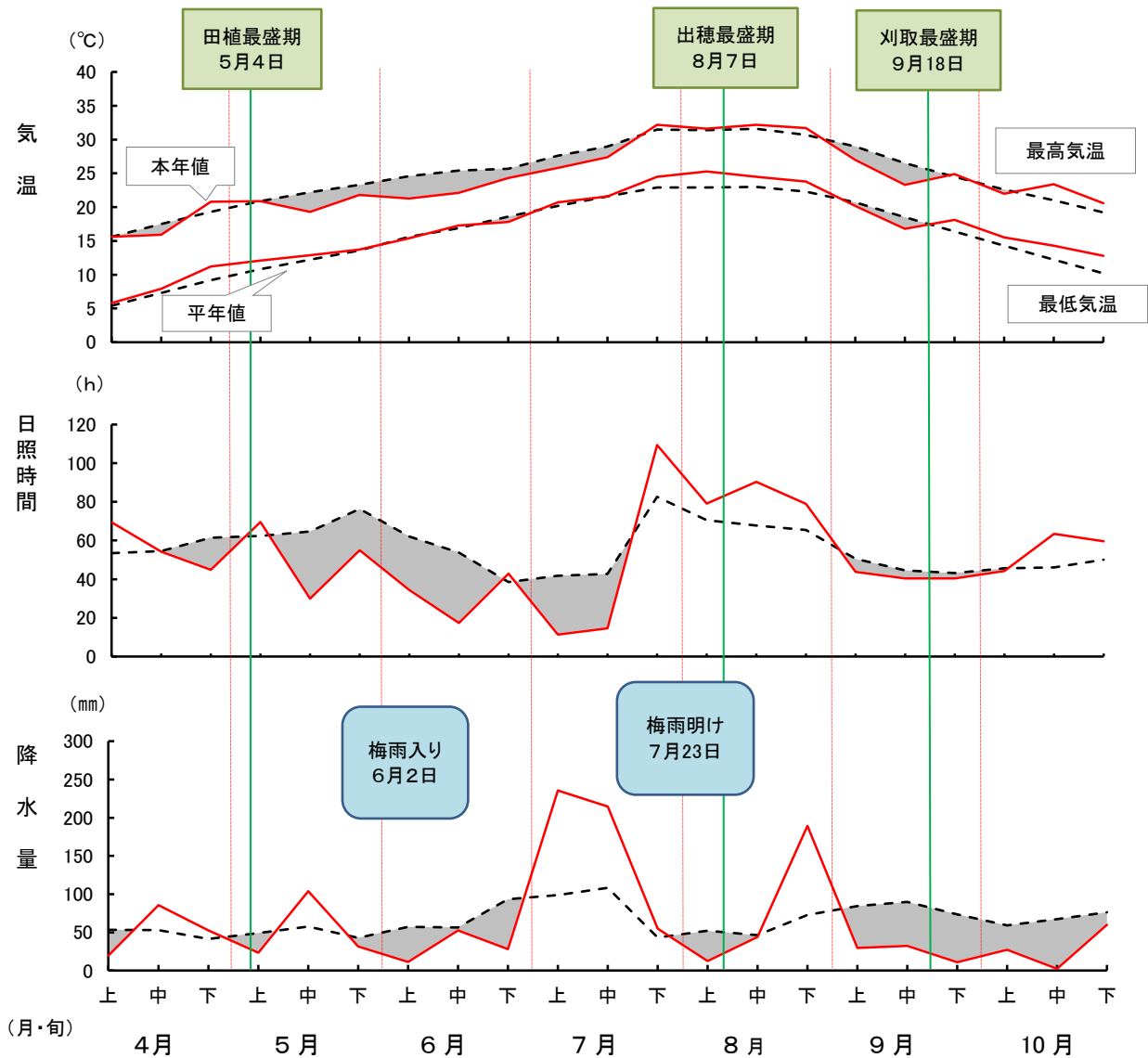
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	石川コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
石川	35,500	512	181,800	22,249
加賀	19,900	545	108,500	
能登	15,600	470	73,300	

注:石川コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	石川	102	103	103
加賀	103	104	104	104
能登	100	100	100	100

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	石川	平年並み	平年並み	平年並み
穂数は平年並みとなり、1穂当たりもみ数も平年並みとなったことから、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は出穂後が高温・多照に経過したからやや良となり、作柄は作況指数103となった。				

気象図 金沢地方気象台(金沢観測点)



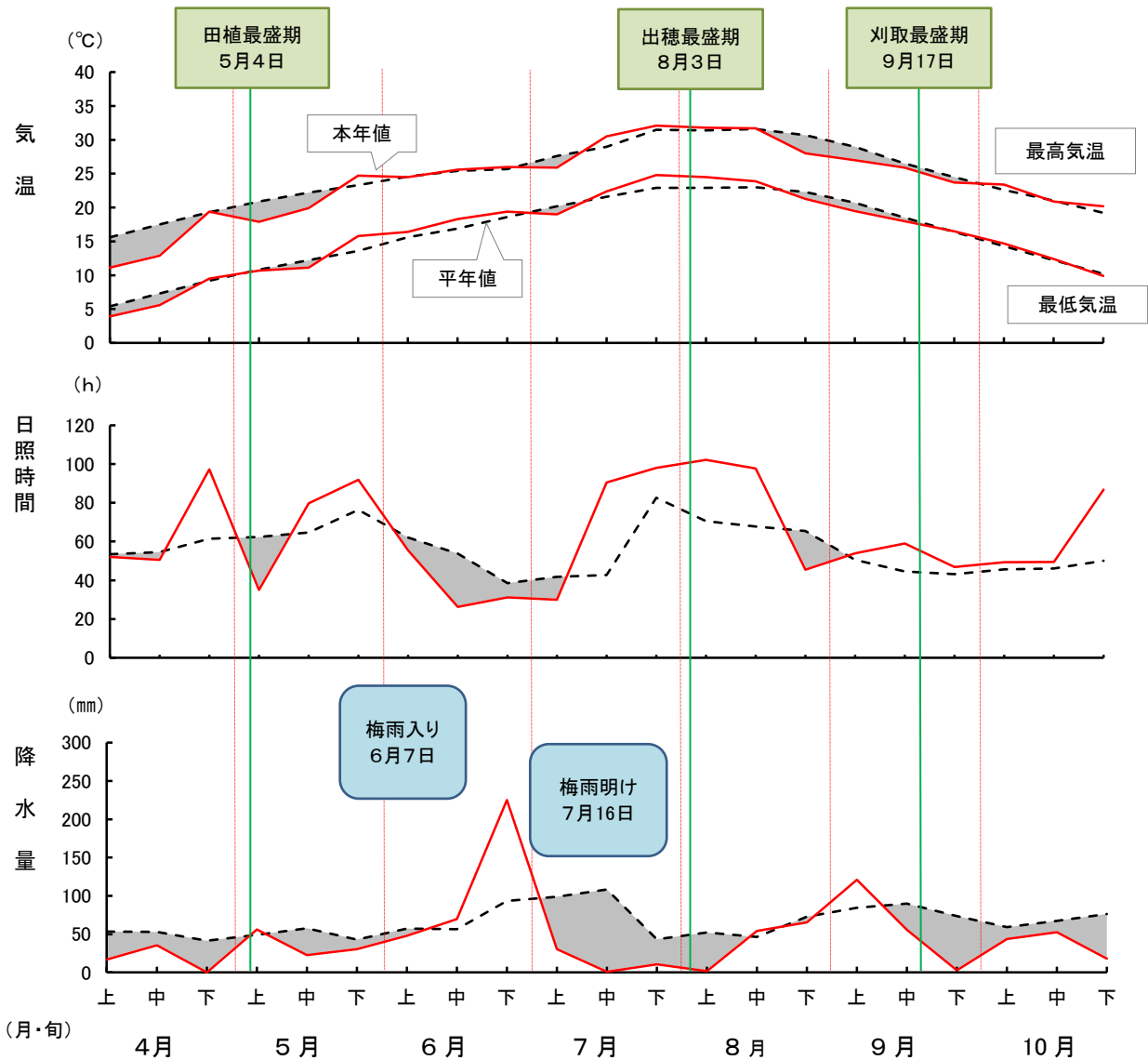
指 標		作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	石川コシヒカリ (60kg当たり)単価
		ha	kg	t	円
指 標	石川	34,000	491	166,900	20,838
	加賀	18,900	520	98,300	
	能登	15,100	455	68,700	

注:石川コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数		8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
		石川	97	98	98
	加賀	97	99	99	99
	能登	96	97	97	97

作柄概況	石川	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
		少ない	やや多い	少ない	やや良
穂数は田植後の日照不足により少なく、1穂当たりもみ数はやや多くなったものの、全もみ数は少なくなった。 登熟は8月の高温・多照によりやや良となったものの、作柄は作況指数98となった。					

気象図 金沢地方气象台(金沢観測点)



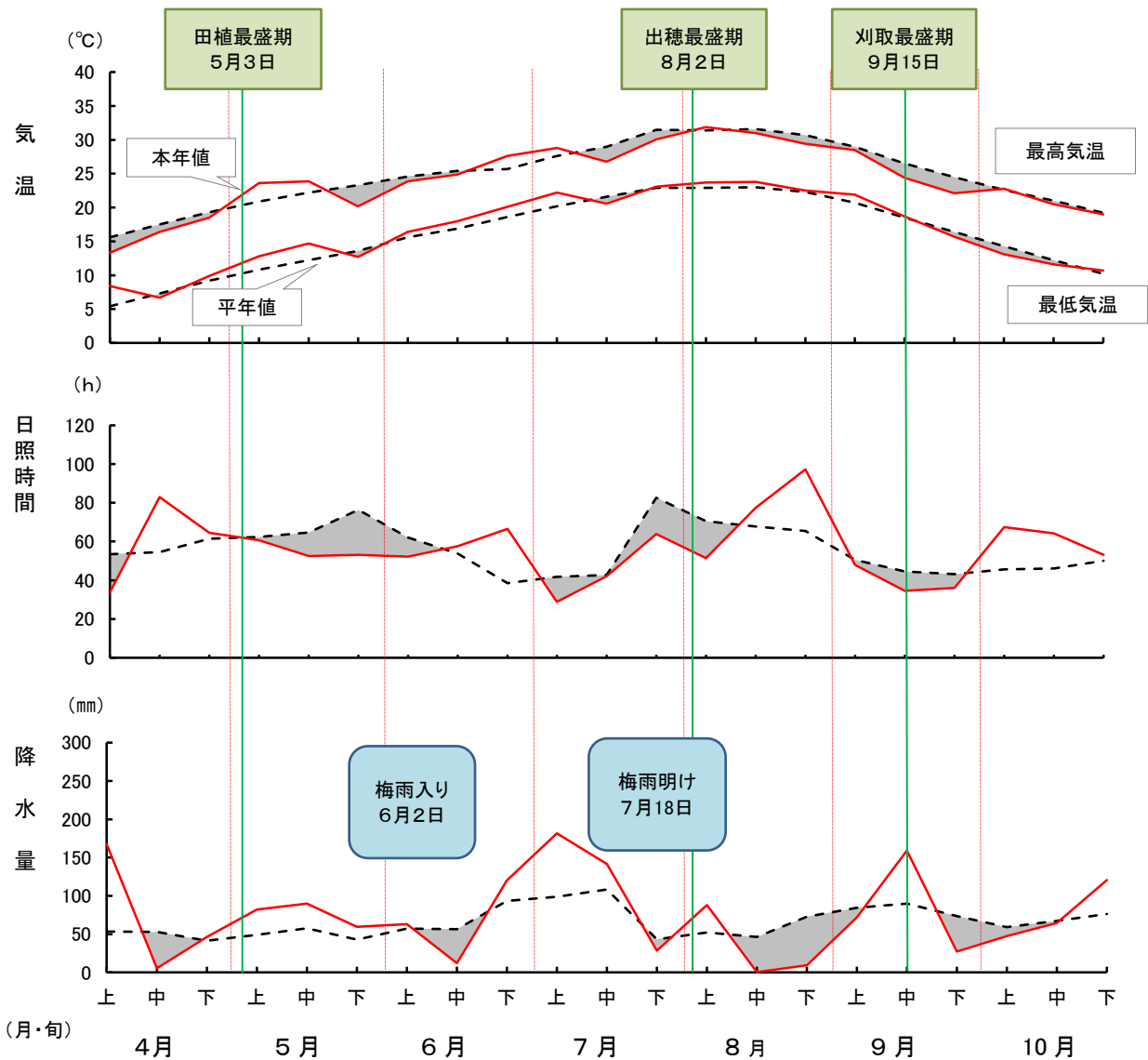
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	石川コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
石川	31,100	522	162,300	20,573
加賀	17,100	548	93,700	
能登	14,000	491	68,700	

注:石川コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	石川	102	104	104
加賀	102	104	104	104
能登	101	104	104	104

作柄概況	1m ² 当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1m ² 当たり全もみ数	登熟
	石川	平年並み	やや多い	平年並み
穂数は平年並みとなり、1穂当たりもみ数は7月中旬からの高温・多照によりやや多くなり、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は出穂後がおおむね多照で経過したことからやや良となり、作柄は作況指数104となった。				

気象図 金沢地方気象台(金沢観測点)



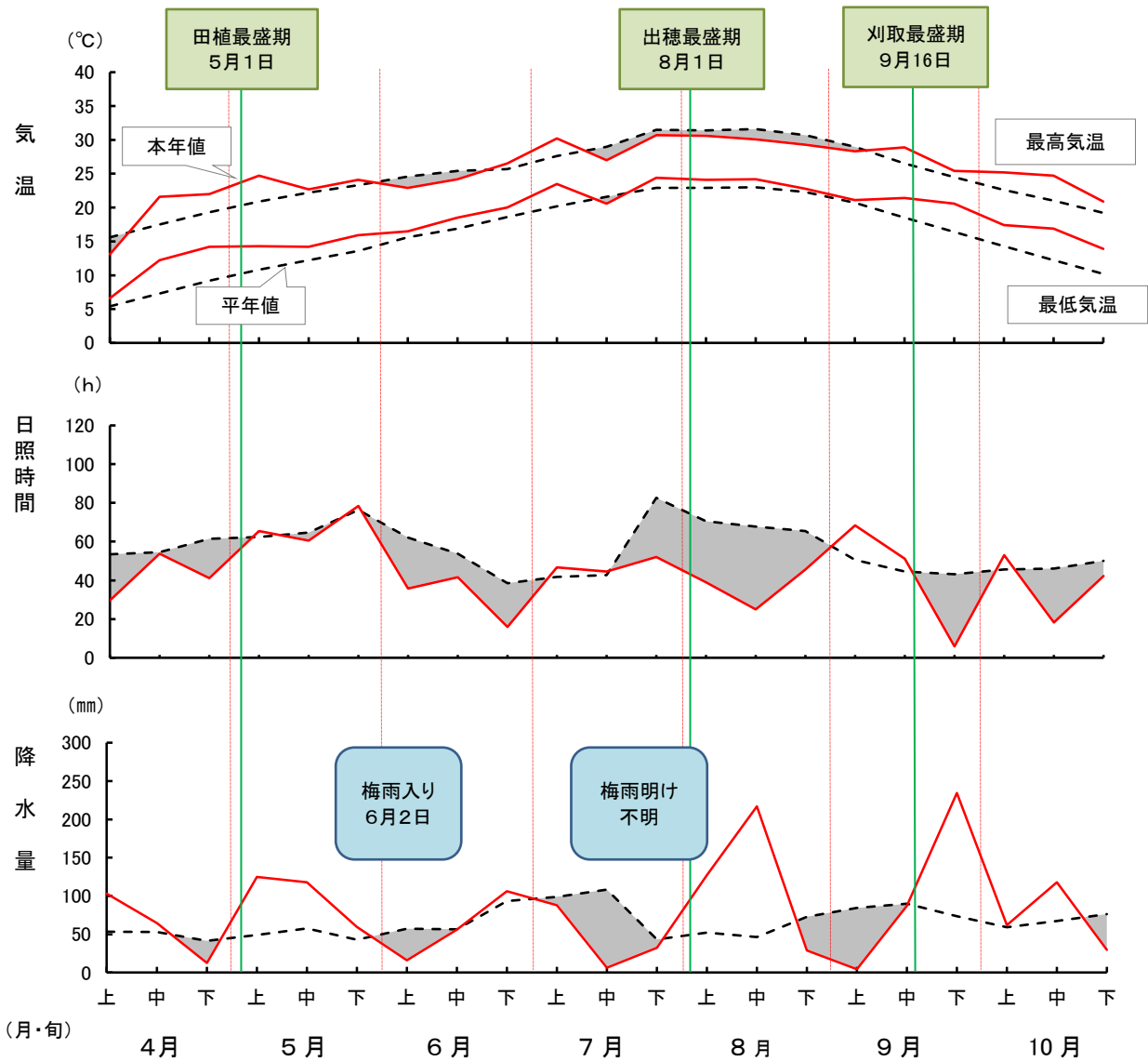
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	石川コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
石川	30,800	497	153,100	18,071
加賀	17,000	517	87,700	
能登	13,900	473	65,400	

注:石川コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	石川	99	99	99
加賀	99	98	98	98
能登	99	99	99	99

作柄概況	1m ² 当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1m ² 当たり全もみ数	登熟
	石川	やや少ない	平年並み	やや少ない
穂数は5月中から6月上旬まで日照が少なかったことからやや少なく、1穂当たりもみ数が平年並みとなったことから、全もみ数はやや少なくなった。 登熟は8月中・下旬が多照となったことからやや良となり、作柄は作況指数99となった。				

気象図 金沢地方気象台(金沢観測点)



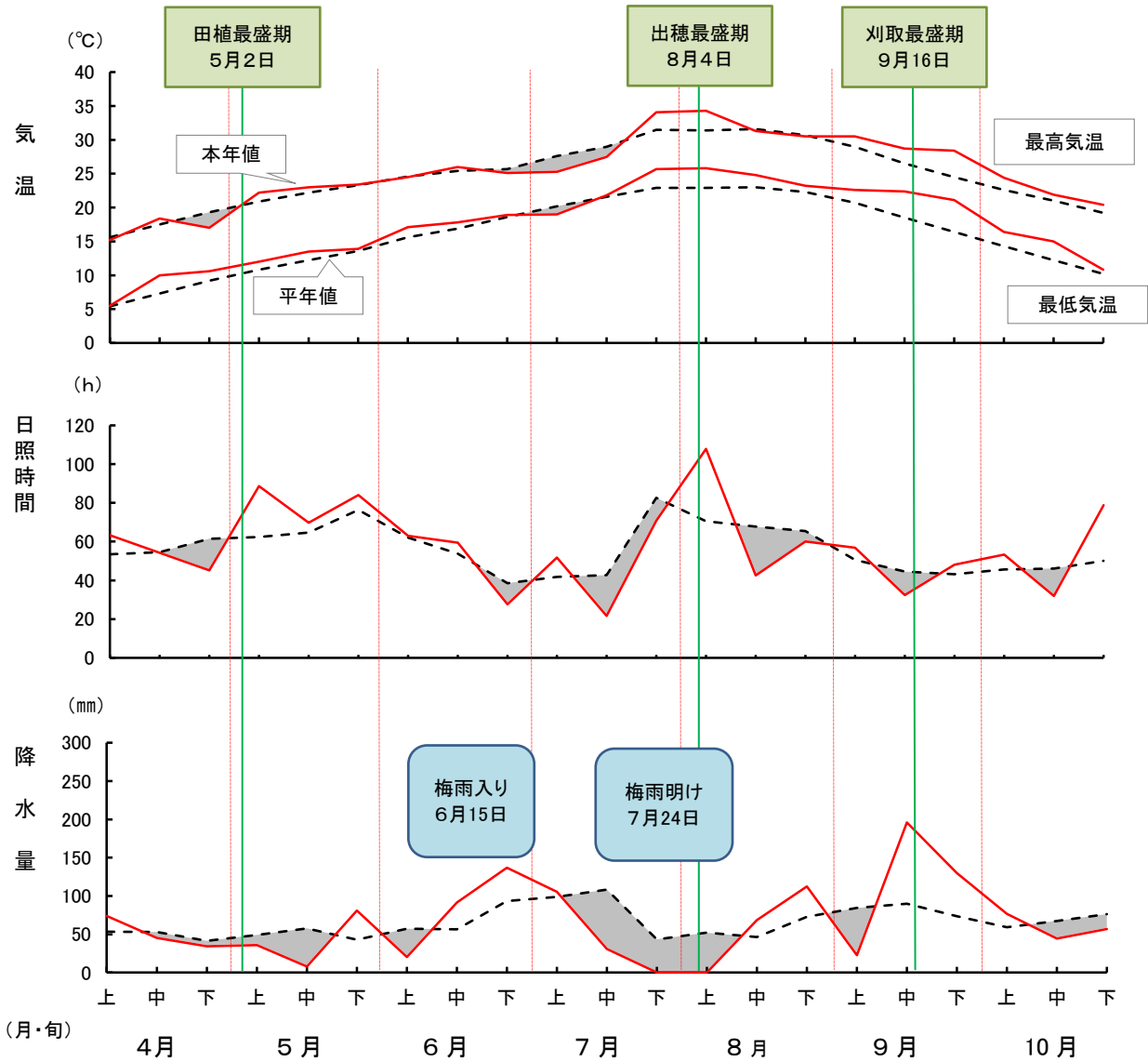
指標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	石川コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
石川	28,100	485	136,300	19,544
加賀	15,400	504	77,600	
能登	12,700	462	58,700	

注:石川コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
石川	97	97	96	96
加賀	96	96	96	96
能登	97	97	97	97

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
石川	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや不良
穂数は6月の日照不足によりやや少なく、1穂当たりもみ数が平年並みとなったことから、全もみ数はやや少なくなった。 登熟は出穂後の日照不足によりやや不良となり、作柄は作況指数96となった。				

気象図 金沢地方気象台(金沢観測点)



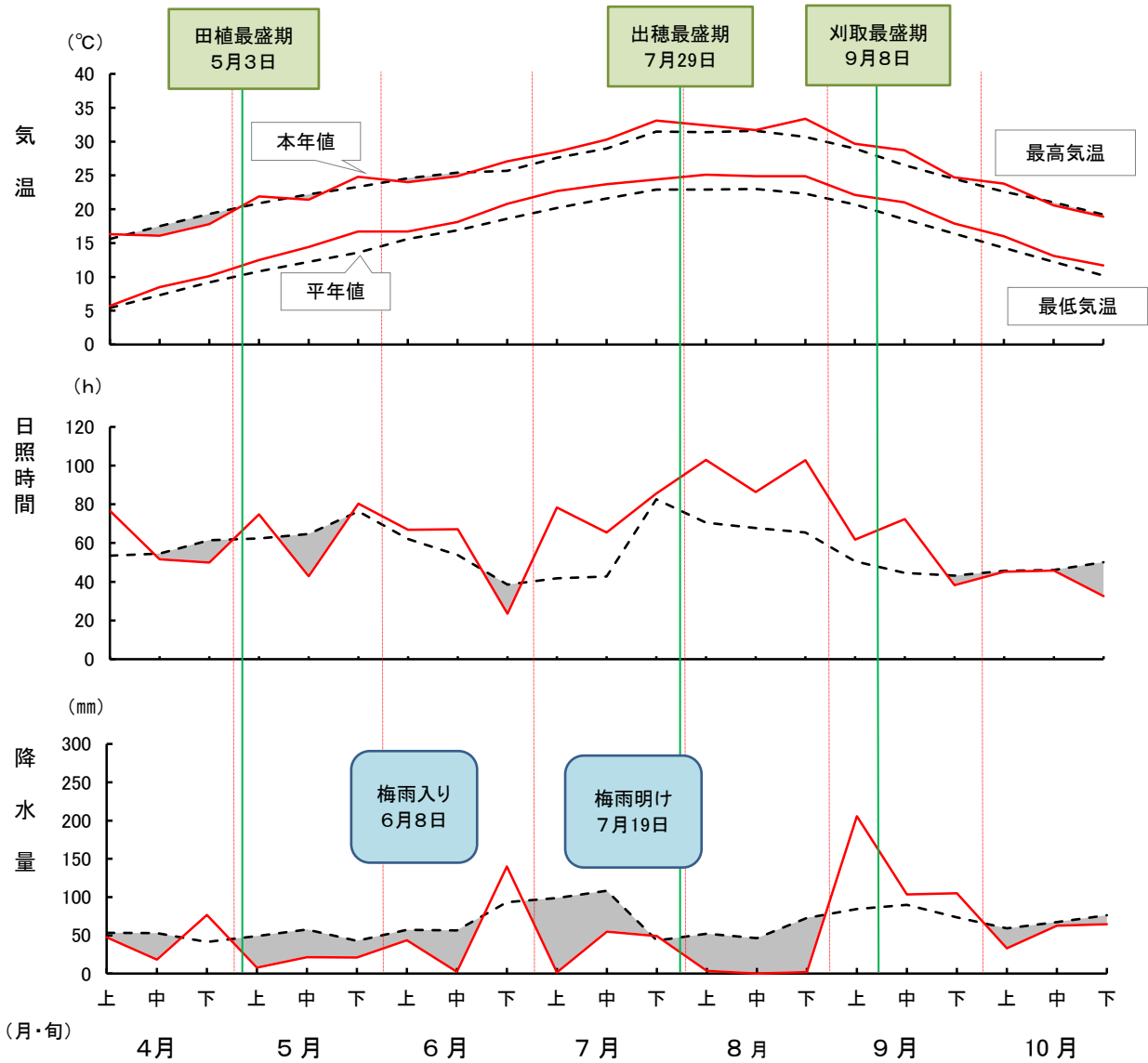
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	石川コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
石川	27,800	517	143,700	17,438
加賀	15,400	539	82,800	
能登	12,400	490	60,900	

注:石川コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	石川	102	102	102
加賀	102	102	102	102
能登	102	102	102	102

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	石川	やや多い	やや少ない	平年並み
穂数は田植後の高温・多照によりやや多くなったものの、1穂当たりもみ数がやや少なく、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は平年並みとなり、作柄は作況指数102となった。				

気象図 金沢地方気象台(金沢観測点)



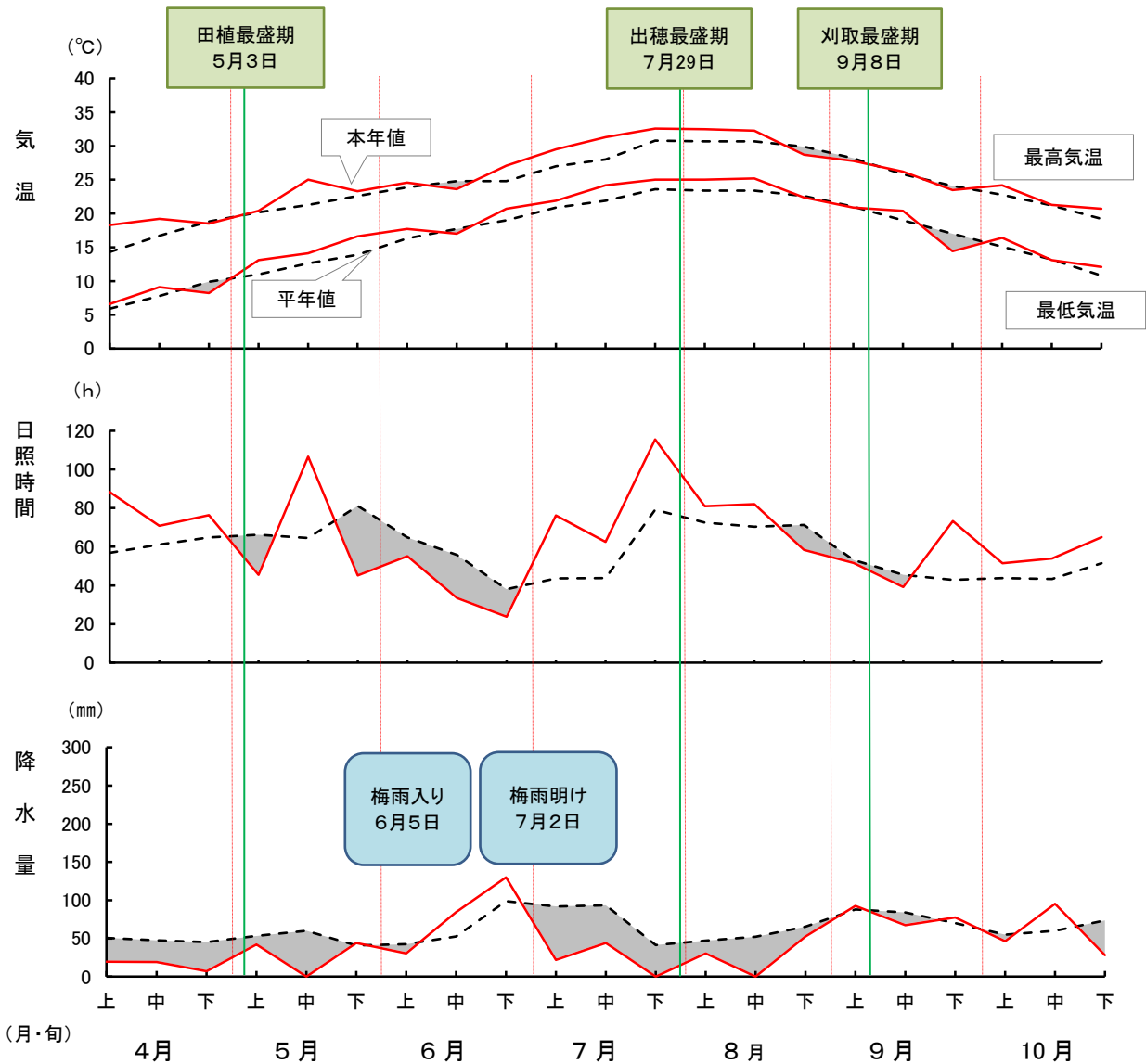
指標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	石川コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
石川	27,700	511	141,500	16,411
加賀	15,300	530	81,300	
能登	12,300	488	60,200	

注:石川コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
石川	平年並み	101	101	101
加賀	平年並み	100	100	100
能登	平年並み	101	101	101

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
石川	平年並み	やや少ない	やや少ない	やや良
穂数は平年並みとなり、1穂当たりもみ数がやや少なくなったことから、全もみ数はやや少なくなった。 登熟は出穂後が高温・多照に経過したことからやや良となり、作柄は作況指数101となった。				

気象図 金沢地方気象台(金沢観測点)



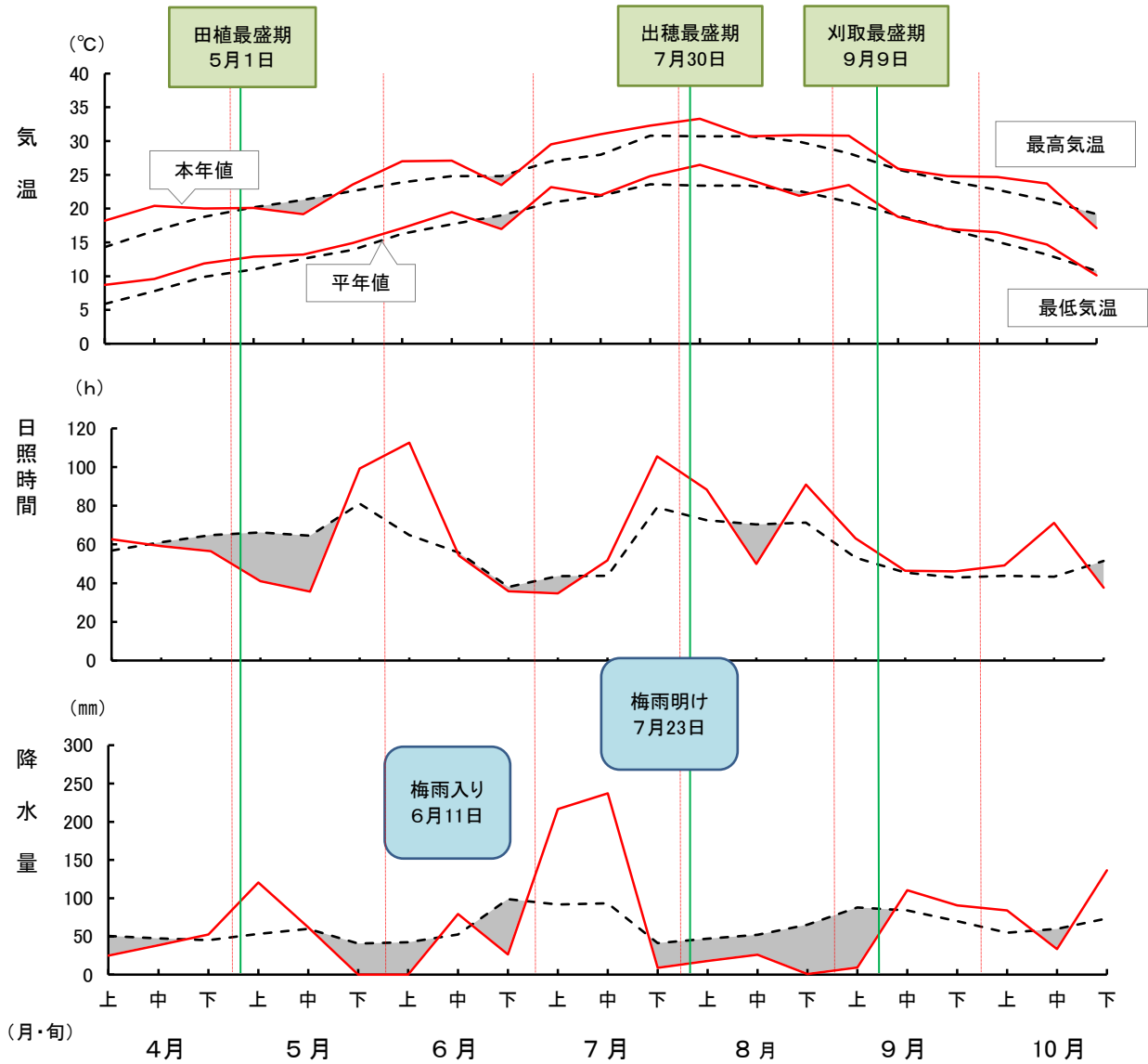
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	石川コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
石川	26,900	519	139,600	16,683円
加賀	14,900	538	80,000	
能登	12,000	497	59,600	

注:石川コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	石川	平年並み	102	102
加賀	平年並み	102	102	102
能登	やや良	103	103	103

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	石川	やや多い	平年並み	平年並み
穂数は田植後の気温が高かったことからやや多く、1穂当たりもみ数が平年並みとなったことから、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は平年並みとなり、作柄は作況指数102となった。				

気象図 金沢地方気象台(金沢観測点)



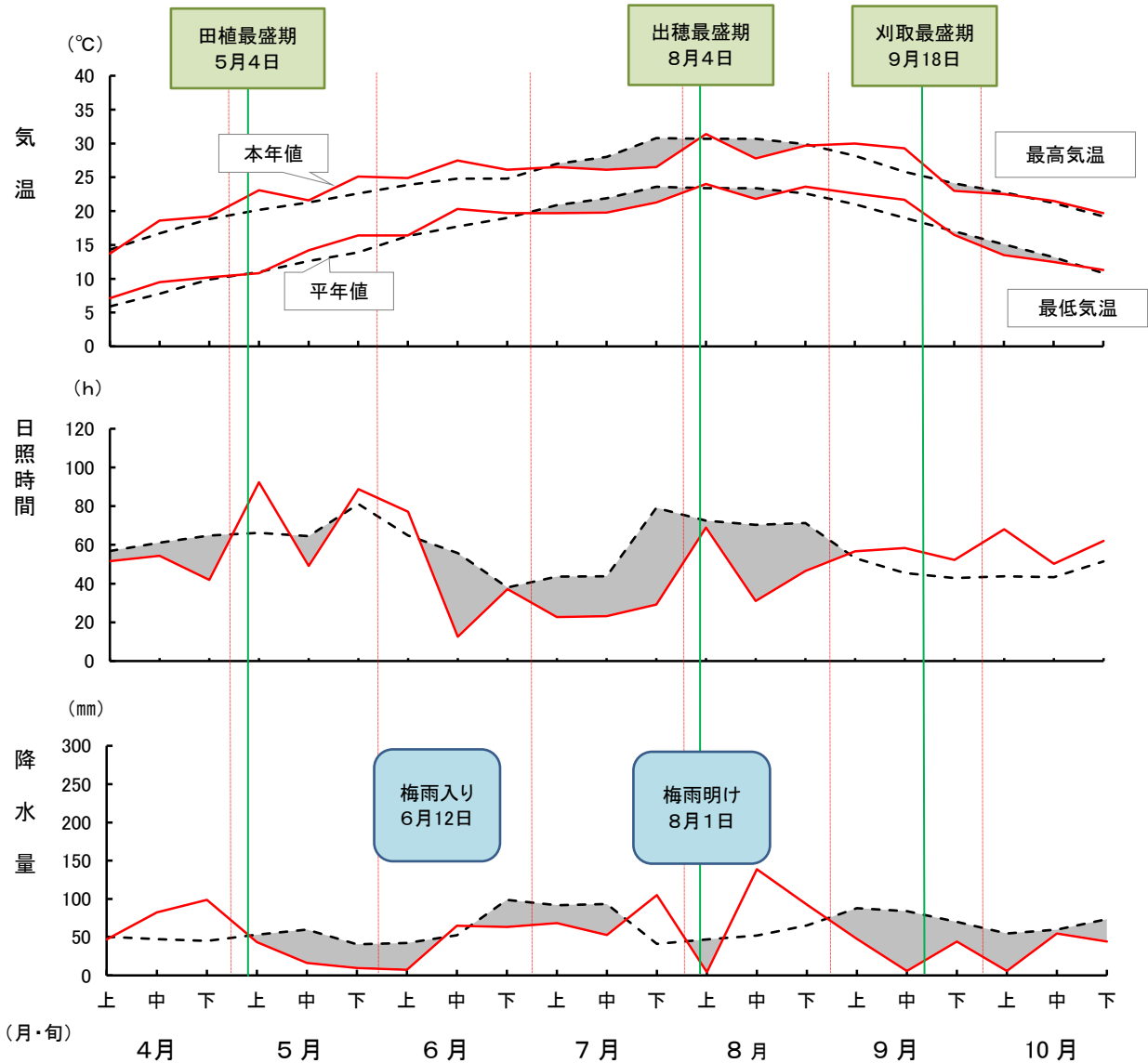
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	石川コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
石川	26,600	522	138,900	16,614
加賀	14,600	542	79,100	
能登	12,000	498	59,800	

注:石川コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	石川	やや良	102	102
加賀	やや良	102	102	102
能登	やや良	102	102	102

作柄概況	1m ² 当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1m ² 当たり全もみ数	登熟
	石川	やや多い	平年並み	平年並み
穂数は5月下旬から6月上旬が高温・多照であったことからやや多く、1穂当たりもみ数が平年並みとなったことから、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は平年並みとなり、作柄は作況指数102となった。				

気象図 金沢地方気象台(金沢観測点)



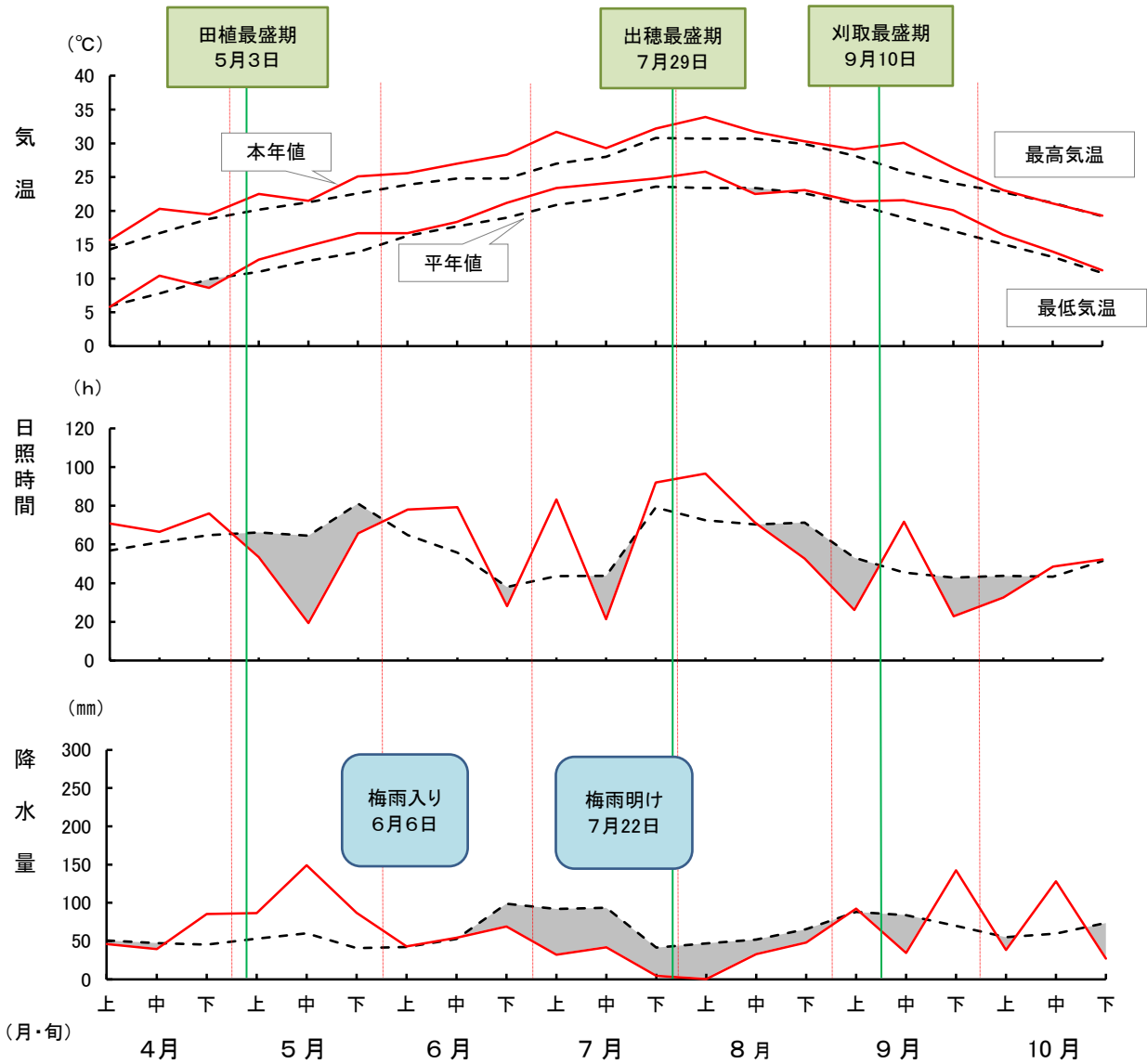
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	石川コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
石川	26,100	493	128,700	21,828
加賀	14,300	513	73,400	
能登	11,800	469	55,300	

注: 石川コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	石川	やや不良	96	96
加賀	やや不良	96	96	96
能登	やや不良	96	95	95

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	石川	平年並み	平年並み	平年並み
穂数は平年並みとなり、1穂当たりもみ数も平年並みとなったことから、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は8月の日照が少なかったことに加え、長雨による倒伏や穂いもち病の発生によりやや不良となり、作柄は作況指数96となった。				

気象図 金沢地方気象台(金沢観測点)



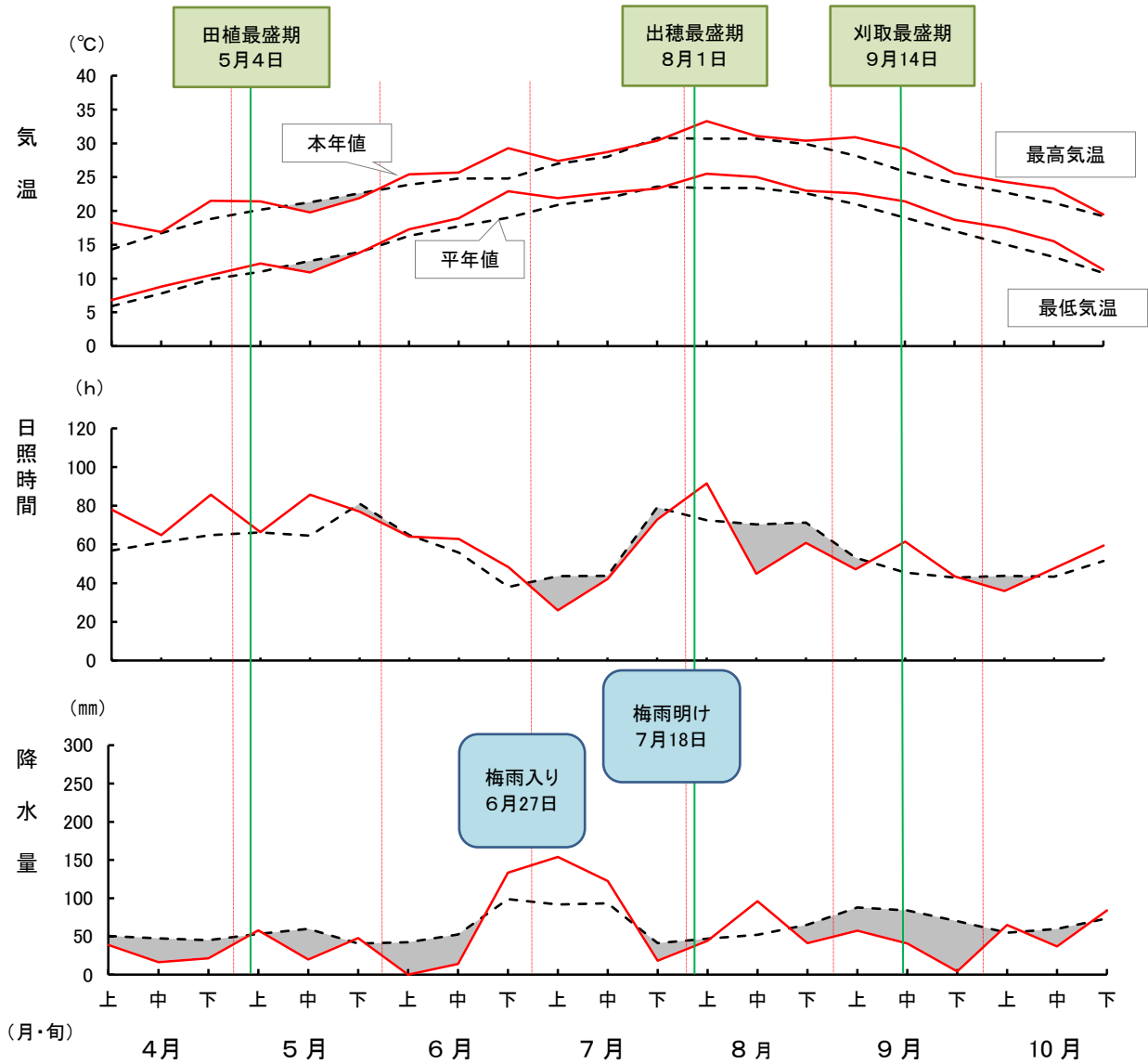
指標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	石川コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
石川	26,800	518	138,800	16,249
加賀	15,200	544	82,500	
能登	11,600	485	56,300	

注:石川コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月10日	10月15日	収穫期
石川	平年並み	101	100	100
加賀	平年並み	101	101	101
能登	平年並み	99	99	99

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	平年並み	平年並み	平年並み	やや良
石川	穂数は平年並みとなり、1穂当たりもみ数も平年並みとなったことから、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は8月上旬が高温・多照であったことからやや良となり、作柄は作況指数100となった。			

気象図 金沢地方気象台(金沢観測点)



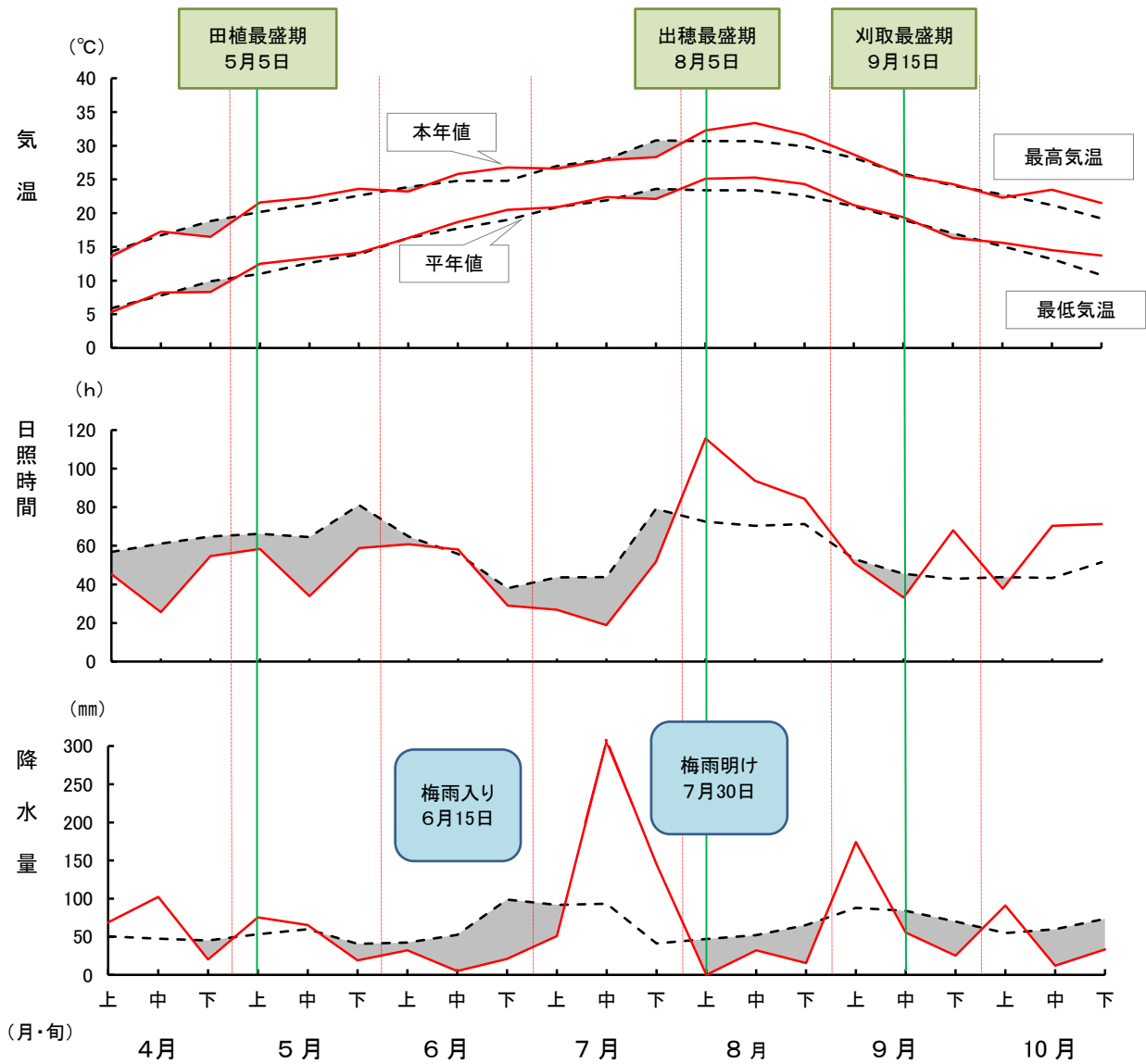
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	石川コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
石川	27,200	522	142,000	15,835
加賀	15,400	544	83,700	
能登	11,800	494	58,300	

注:石川コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	石川	やや良	101	101
加賀	やや良	101	101	101
能登	平年並み	101	101	101

作柄概況	1m ² 当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1m ² 当たり全もみ数	登熟
	石川	平年並み	やや多い	やや多い
穂数は平年並みとなり、1穂当たりもみ数は6月下旬の高温・多照によりやや多くなったことから、全もみ数はやや多くなった。 登熟は平年並みとなり、作柄は作況指数101となった。				

気象図 金沢地方気象台(金沢観測点)



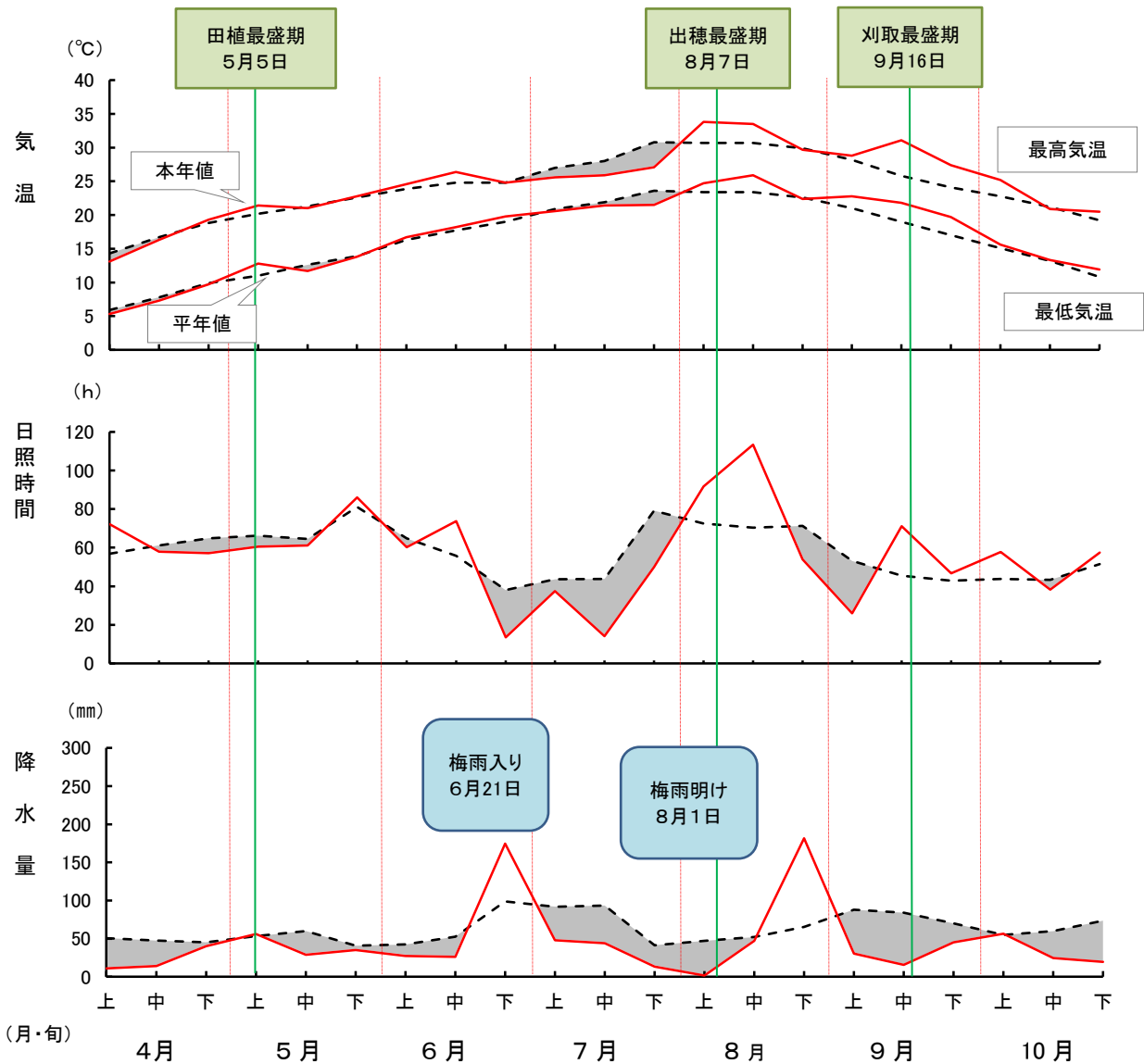
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	石川コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
石川	26,900	515	138,500	15,204
加賀	15,300	536	81,900	
能登	11,600	488	56,600	

注:石川コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	石川	平年並み	100	100
加賀	平年並み	100	100	100
能登	平年並み	99	99	99

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	石川	やや少ない	やや多い	平年並み
穂数は田植後の日照不足によりやや少なくなったものの、1穂当たりもみ数がやや多くなったことから、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は平年並みとなったことから、作柄は作況指数100となった。				

気象図 金沢地方気象台(金沢観測点)



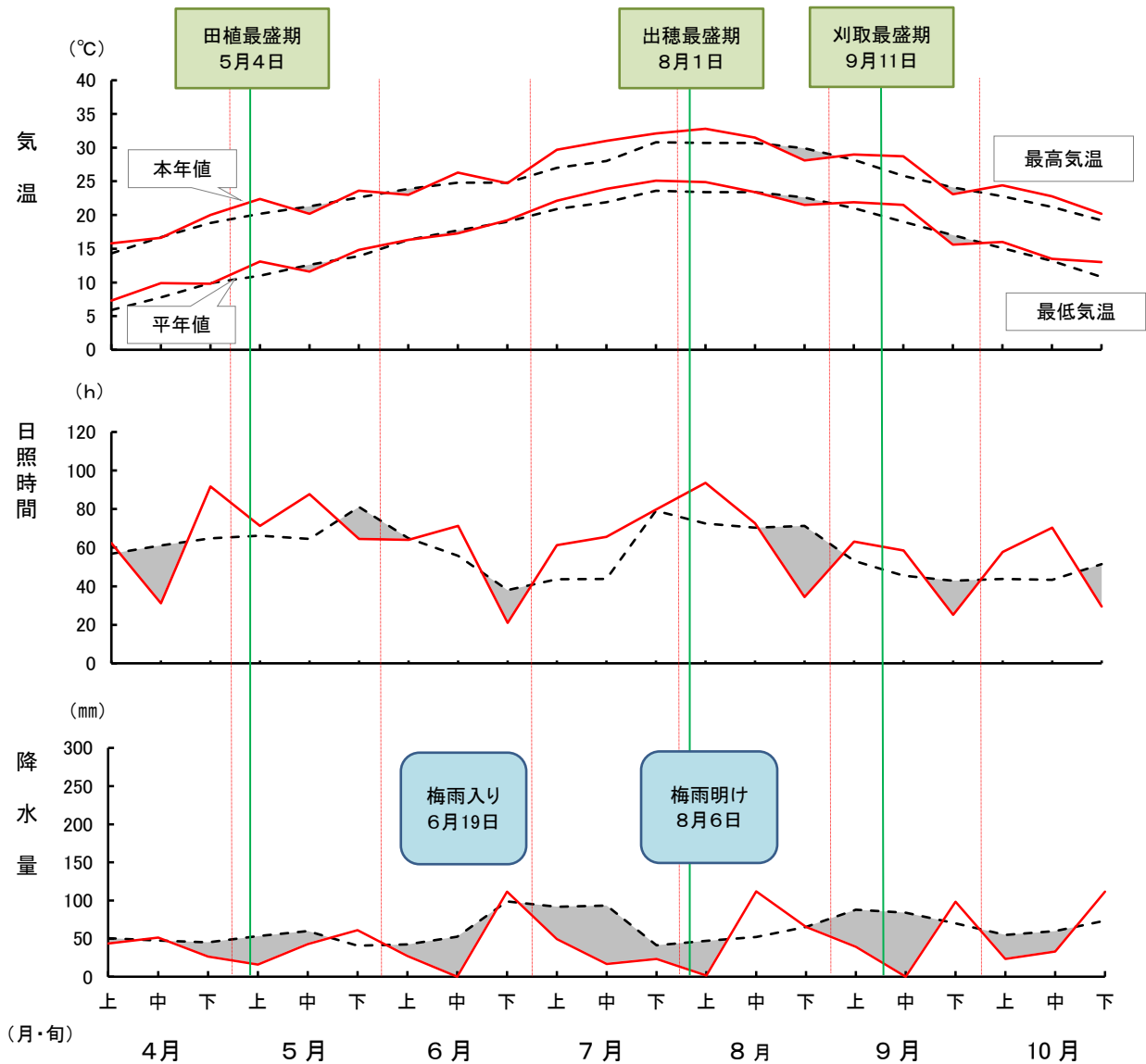
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	石川コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
石川	26,700	513	137,000	14,200
加賀	15,200	530	80,000	
能登	11,600	491	57,000	

注:石川コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	石川	平年並み	99	99
加賀	平年並み	99	99	99
能登	平年並み	100	100	100

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	石川	やや少ない	やや多い	平年並み
穂数は6月下旬から7月下旬の低温・日照不足によりやや少なくなったものの、1穂当たりもみ数がやや多くなったことから、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は8月下旬から9月上旬が日照不足であったことからやや不良となり、作柄は作況指数99となった。				

気象図 金沢地方気象台(金沢観測点)



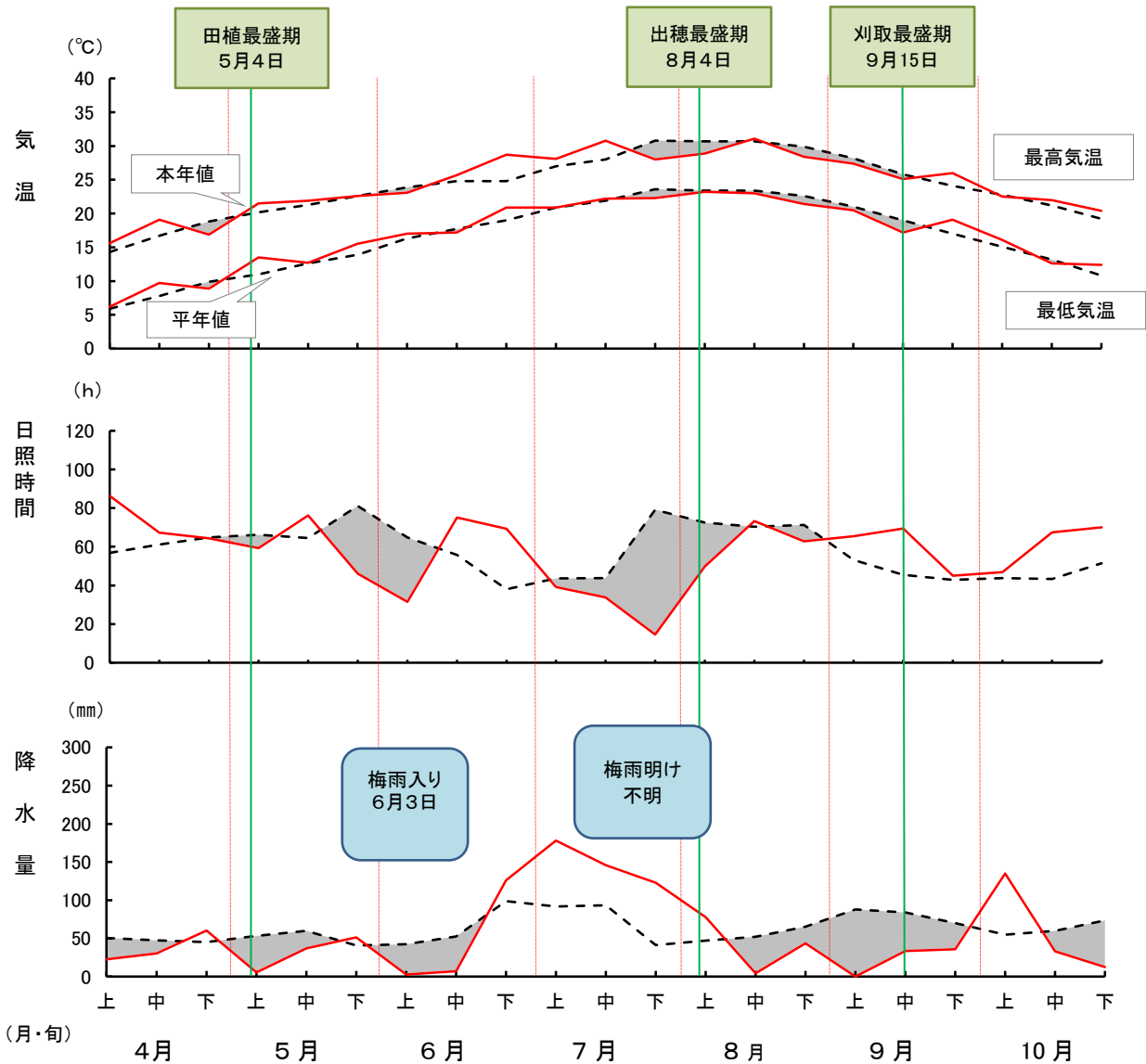
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	石川コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
石川	26,400	527	139,100	14,800
加賀	14,900	547	81,700	
能登	11,400	502	57,400	

注:石川コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	石川	やや良	102	102
加賀	やや良	102	102	102
能登	やや良	102	102	102

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	石川	平年並み	やや多い	やや多い
穂数は平年並みとなり、1穂当たりもみ数が7月の高温・多照によりやや多くなったことから、全もみ数はやや多くなった。 登熟は平年並みとなり、作柄は作況指数102となった。				

気象図 金沢地方気象台(金沢観測点)



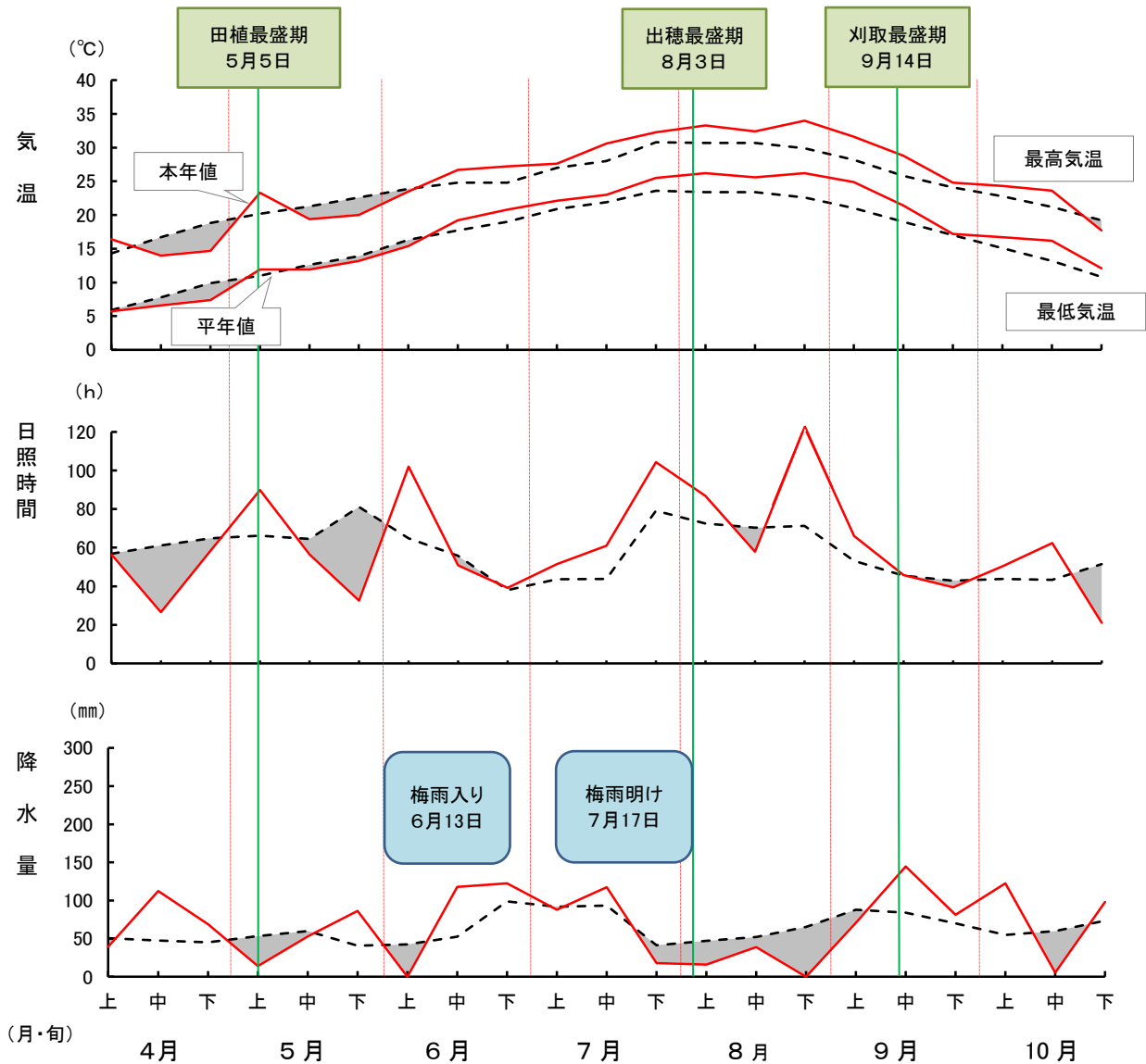
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	石川コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
石川	26,400	511	134,900	14,700
加賀	15,000	530	79,500	
能登	11,400	487	55,500	

注:石川コシヒカリの価格は、銘柄別落札加重平均価格(指標価格)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	石川	やや不良	98	98
加賀	やや不良	98	98	98
能登	平年並み	99	99	99

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	石川	やや少ない	平年並み	平年並み
穂数は5月下旬から6月上旬の日照不足によりやや少なく、1穂当たりもみ数が平年並みとなったことから、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は平年並みとなり、作柄は作況指数98となった。				

気象図 金沢地方気象台(金沢観測点)



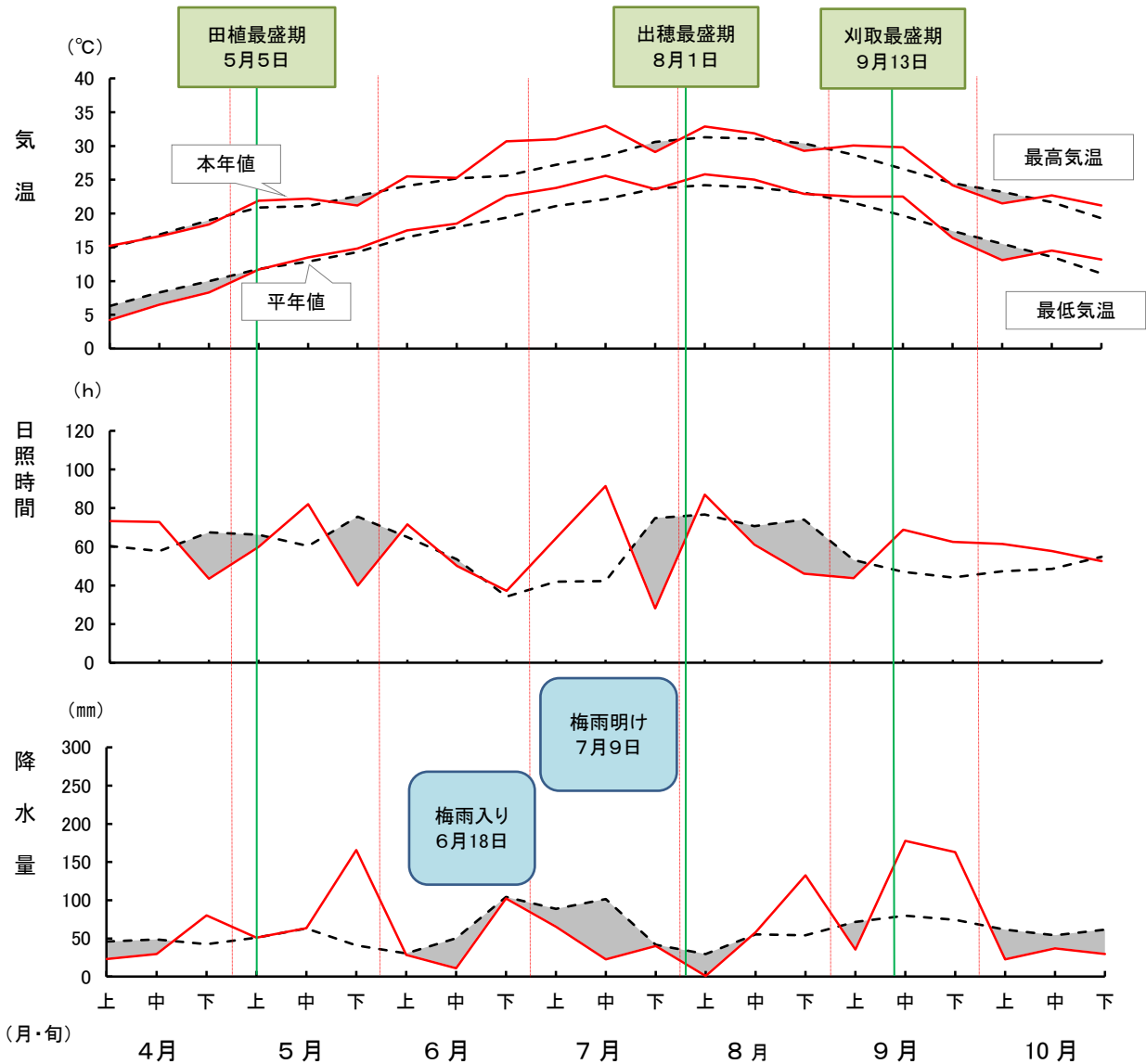
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	石川コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
石川	26,400	524	138,300	13,313
加賀	15,000	544	81,600	
能登	11,500	499	57,400	

注:石川コシヒカリの価格は、米の相対取引価格(出荷業者・通年平均)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	石川	やや良	101	101
加賀	やや良	101	101	101
能登	やや良	101	101	101

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	石川	少ない	多い	やや多い
穂数は5月下旬の低温・日照不足により少なくなったものの、1穂当たりもみ数が多くなり、全もみ数はやや多くなった。 登熟は出穂後が高夜温となりやや不良となったことから、作柄は作況指数101となった。				

気象図 金沢地方気象台(金沢観測点)



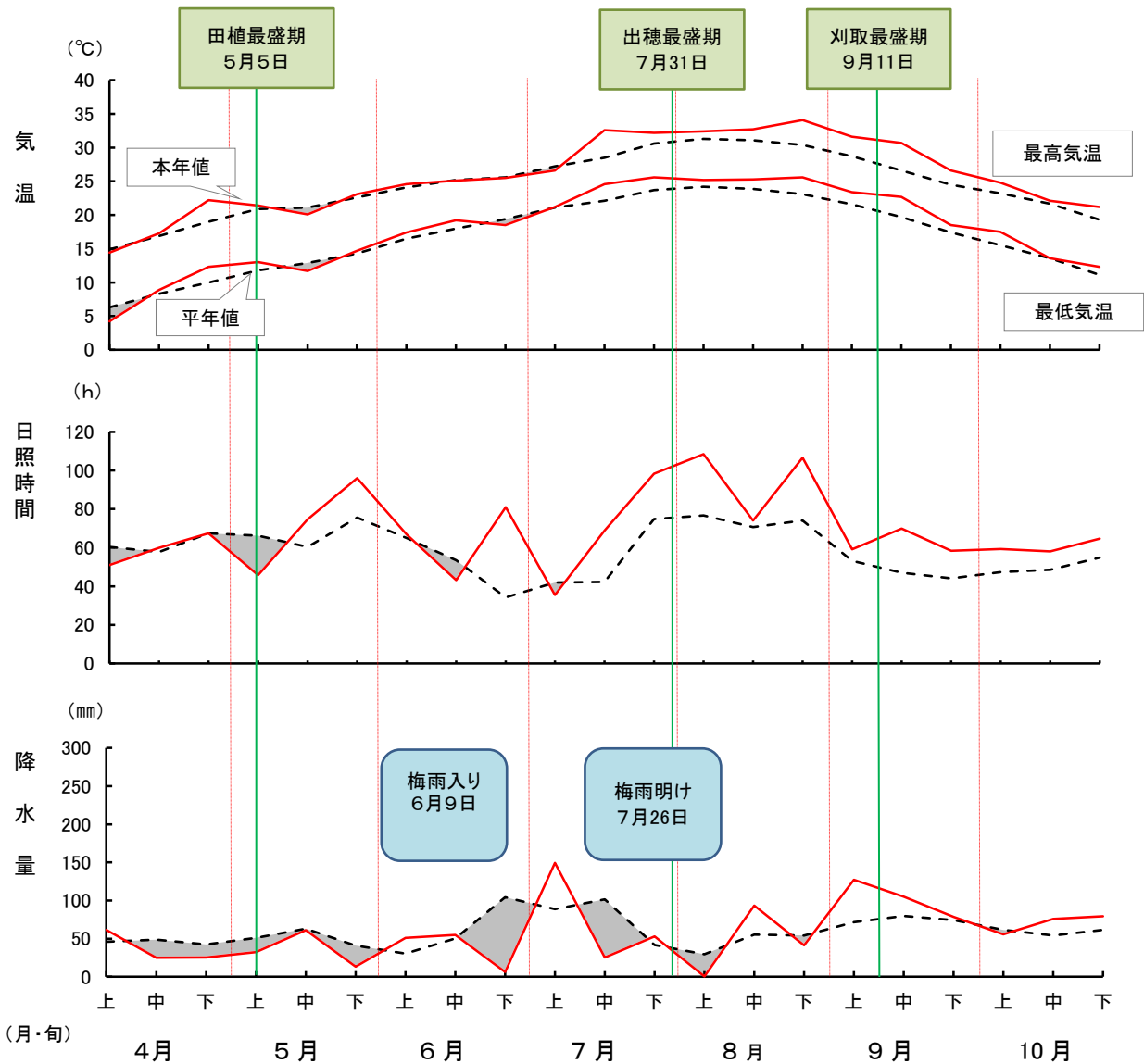
指 標		作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	石川コシヒカリ (60kg当たり)単価
		ha	kg	t	円
指 標	石川	26,000	528	137,300	16,218
	加賀	14,600	549	80,200	
	能登	11,300	501	56,600	

注:石川コシヒカリの価格は、米の相対取引価格(出荷業者・通年平均)である。

作況指数		8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
		石川	平年並み	102	102
作況指数	加賀	やや良	102	102	102
	能登	平年並み	102	102	102

作柄概況		1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
		石川	やや少ない	やや多い	平年並み
穂数は5月下旬の日照不足によりやや少なくなったものの、1穂当たりもみ数はやや多くなり、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は平年並みとなり、作柄は作況指数102となった。					

気象図 金沢地方気象台(金沢観測点)



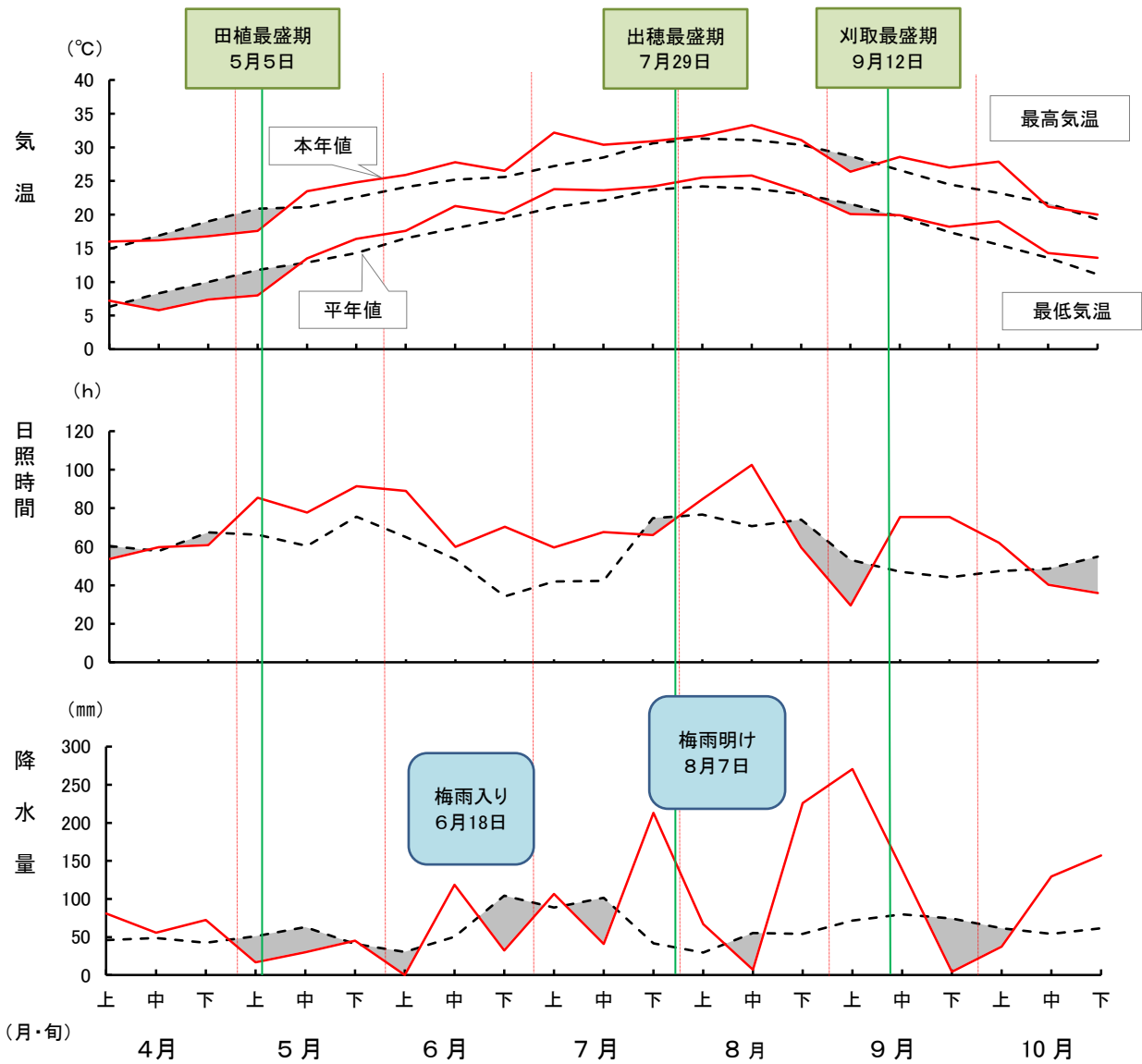
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	石川コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
石川	26,400	526	138,900	16,898
加賀	14,900	545	81,200	
能登	11,400	501	57,100	

注:石川コシヒカリの価格は、米の相対取引価格(出荷業者・通年平均)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	石川	平年並み	101	101
加賀	平年並み	101	101	101
能登	やや良	102	102	102

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	石川	平年並み	平年並み	平年並み
穂数は平年並みとなり、1穂当たりもみ数も平年並みとなったことから、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は平年並みとなり、作柄は作況指数101となった。				

気象図 金沢地方気象台(金沢観測点)



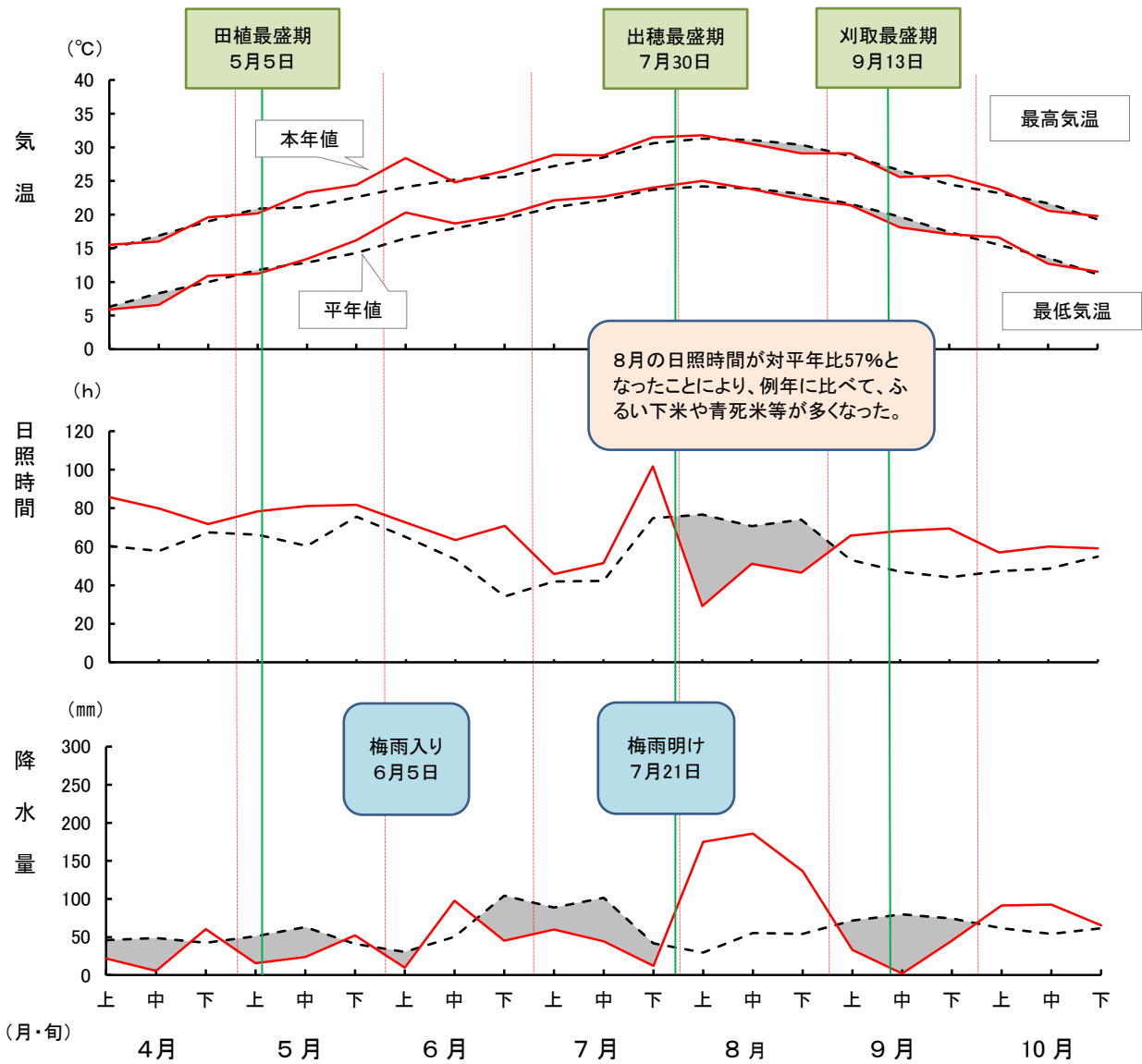
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	石川コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
石川	26,700	522	139,400	14,531
加賀	15,200	544	82,700	
能登	11,500	494	56,800	

注: 石川コシヒカリの価格は、米の相対取引価格(出荷業者・通年平均)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	石川	101	101	101
加賀	101	101	101	101
能登	100	100	100	100

作柄概況	1m ² 当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1m ² 当たり全もみ数	登熟
	石川	101	101	101
穂数は平年並みとなり、1穂当たりもみ数も平年並みとなったことから、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は平年並みとなり、作柄は作況指数101となった。				

気象図 金沢地方気象台(金沢観測点)



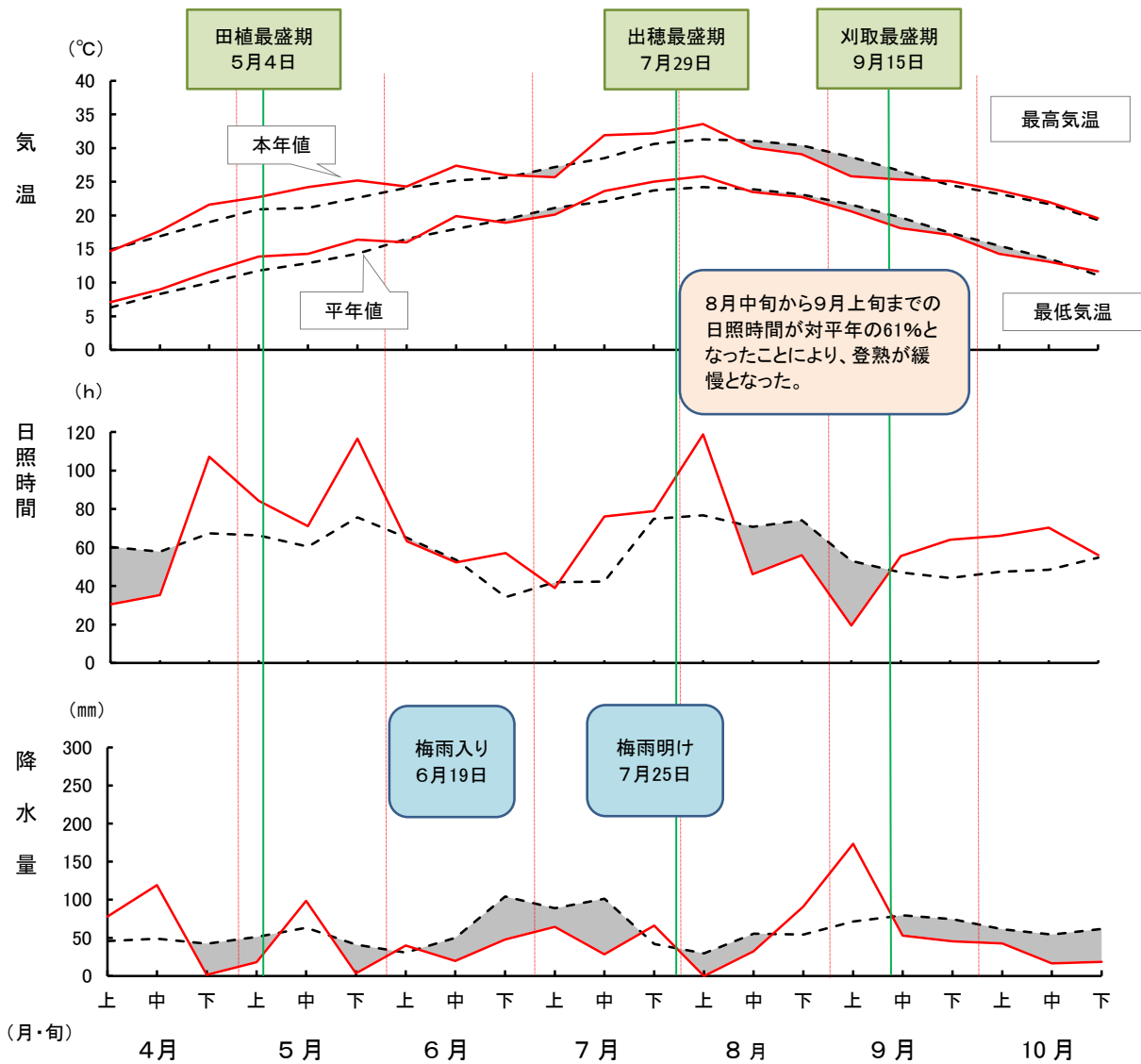
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	石川コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
石川	26,600	508	135,100	12,813
加賀	15,100	525	79,300	
能登	11,500	484	55,700	

注: 石川コシヒカリの価格は、米の相対取引価格(出荷業者・通年平均)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	石川	平年並み	98	98
加賀	平年並み	97	97	97
能登	平年並み	98	98	98

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	石川	平年並み	平年並み	平年並み
田植期以降おおむね天候に恵まれ、穂数、1穂当たりもみ数とも平年並みで、全もみ数も平年並みとなった。 登熟は8月の降雨や日照不足の影響により、平年に比べやや不良となったことから、作柄は作況指数98となった。				

気象図 金沢地方気象台(金沢観測点)



指標	石川	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	石川コシヒカリ (60kg当たり)単価
		ha	kg	t	円
	石川	26,100	522	136,200	13,901
	加賀	14,900	544	81,100	
	能登	11,100	493	54,700	

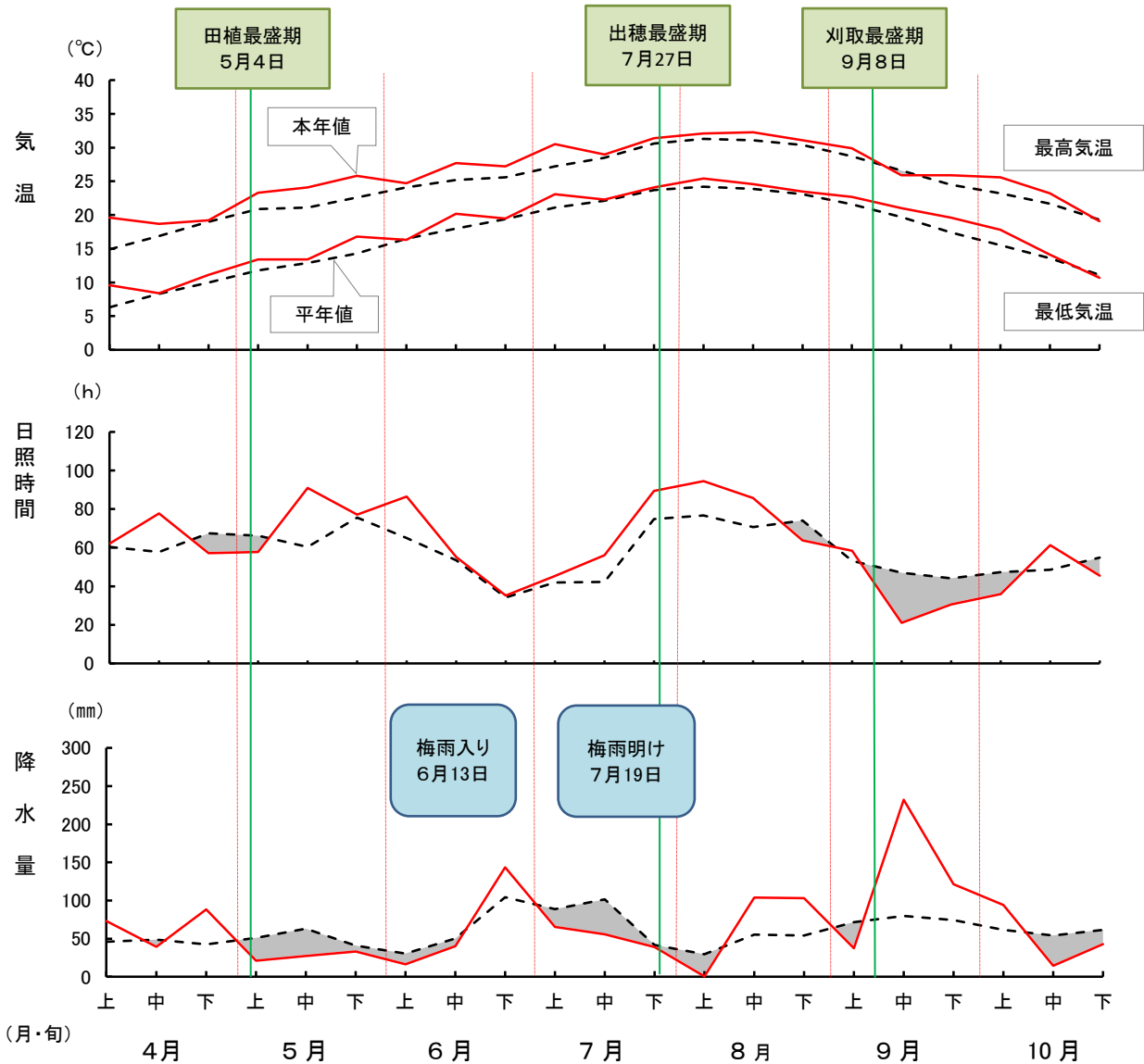
注:石川コシヒカリの価格は、米の相対取引価格(出荷業者・通年平均)である。

作況指数	石川	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
		石川	やや良	101	101
	加賀	やや良	101	101	101
	能登	やや良	100	100	100

注:本年産から農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数となった。以降の年次も同様。

作柄概況	石川	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
		石川	やや多い	平年並み	平年並み
穂数は田植期以降、総じて高温・多照であったことからやや多くなった。1穂当たりもみ数は7月中旬以降の高温・多照により平年並みを確保し、全もみ数も平年並みとなった。登熟は8月中旬から9月上旬までの日照不足等により、子実の肥大・充実が緩慢に推移したものの平年並みとなり、作柄は作況指数101となった。					

気象図 金沢地方气象台(金沢観測点)



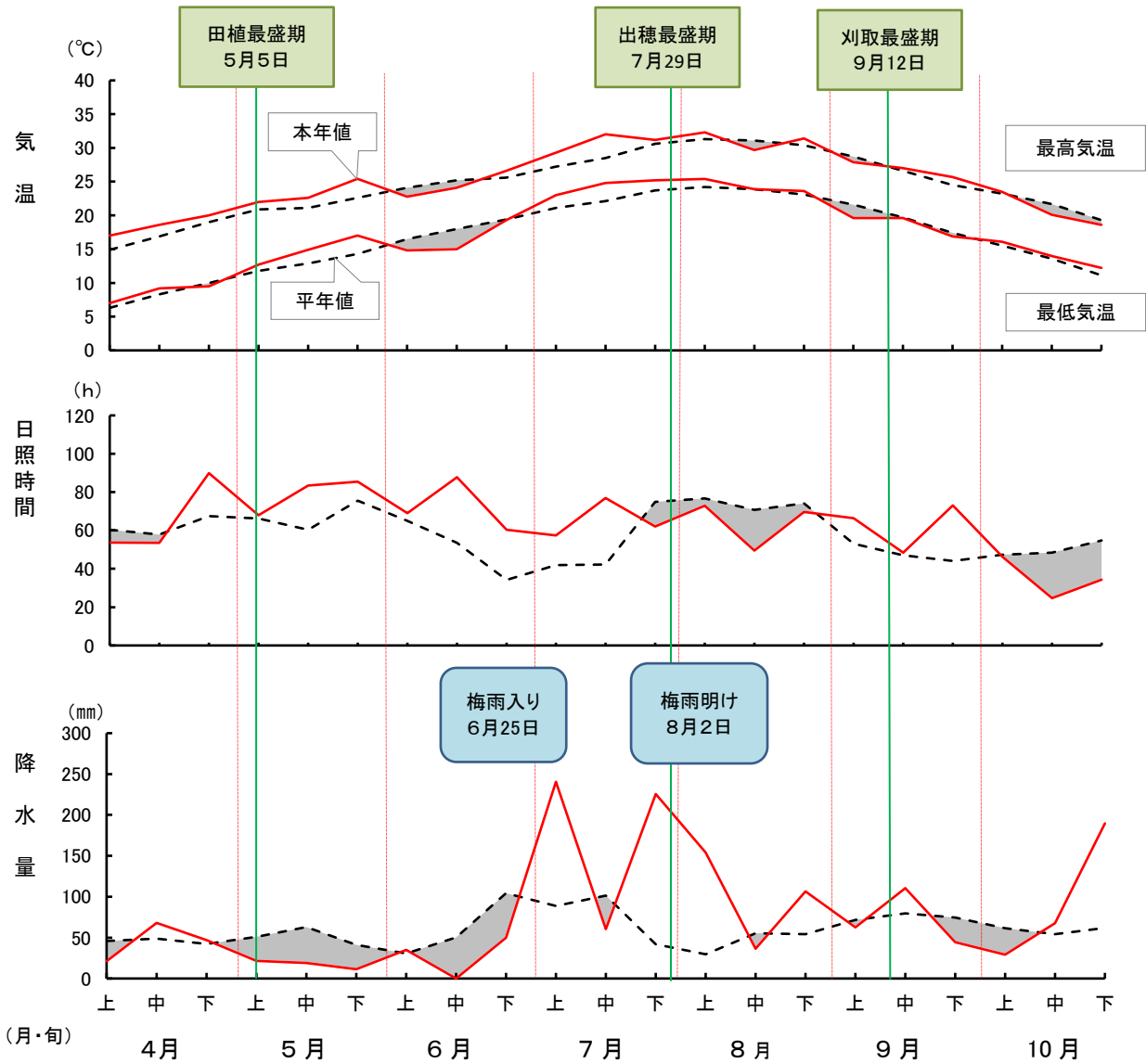
指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	石川コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
石川	25,600	534	136,700	14,815
加賀	14,800	556	82,300	
能登	10,800	505	54,500	

注: 石川コシヒカリの価格は、米の相対取引価格(出荷業者・通年平均)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	石川	やや良	104	104
加賀	やや良	104	104	104
能登	やや良	104	104	104

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	石川	平年並み	平年並み	平年並み
穂数は田植期から出穂期までおおむね天候に恵まれたことから、平年並みとなった。1穂当たりもみ数も平年並みを確保し、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は出穂期以降も天候に恵まれ、開花、受精及び子実の肥大、充実も順調に推移しやや良となり、作柄は作況指数104となった。				

気象図 金沢地方気象台(金沢観測点)



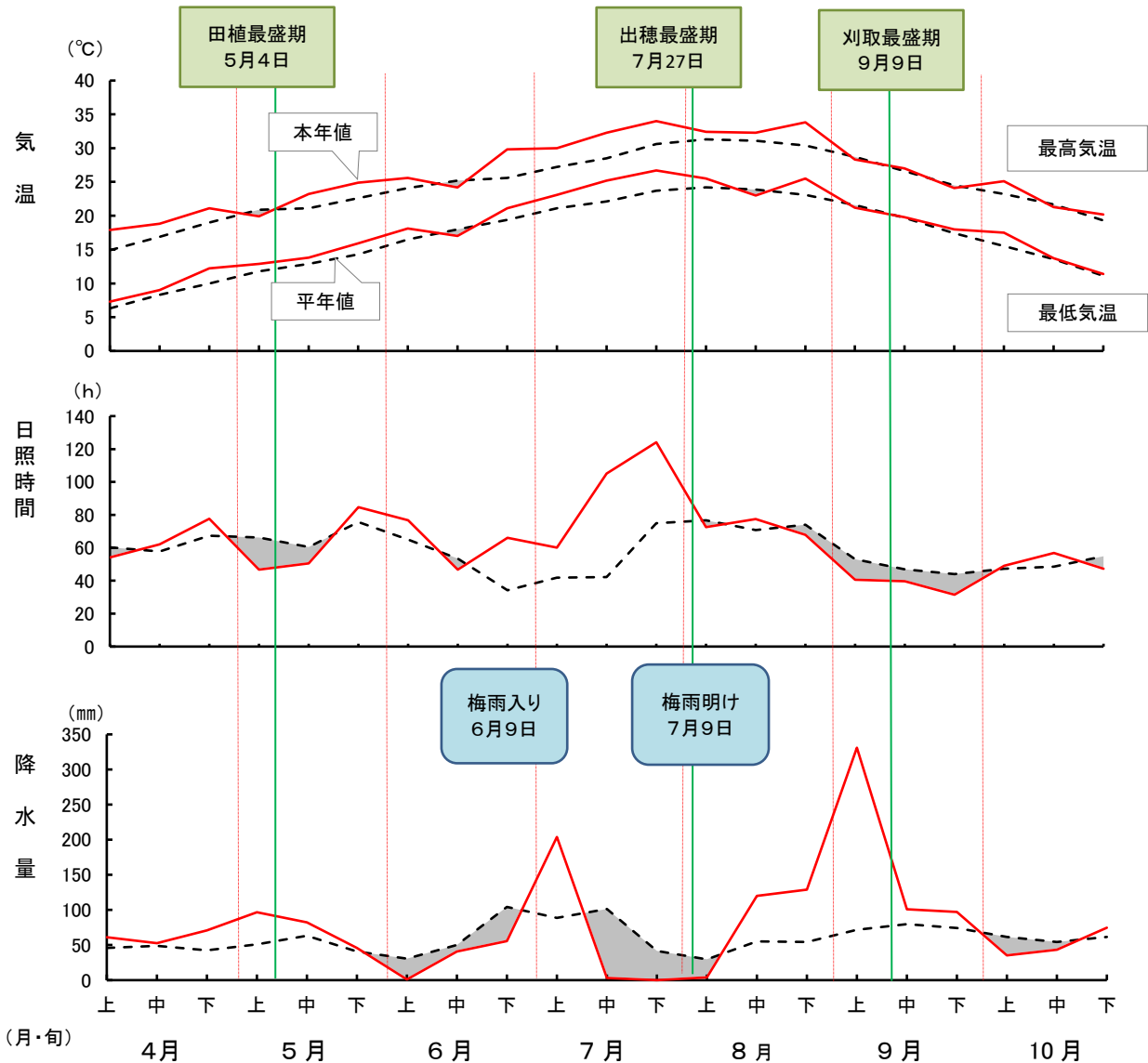
指 標		作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	石川コシヒカリ (60kg当たり)単価
		ha	kg	t	円
指 標	石川	25,300	519	131,300	15,608
	加賀	14,600	539	78,700	
	能登	10,700	491	52,500	

注: 石川コシヒカリの価格は、米の相対取引価格(出荷業者・通年平均)である。

作況指数		8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
		石川	平年並み	100	99
	加賀	平年並み	100	100	100
	能登	平年並み	99	99	99

作柄概況		1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
		石川	平年並み	平年並み	平年並み
穂数は平年並みとなった。1穂当たりもみ数も平年並みを確保し、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は出穂期以降寡照傾向であったものの、気温が平年並みに経過したことから、開花、受精及び子実の肥大、充実も平年並みに推移し平年並みとなり、作柄は作況指数99となった。					

気象図 金沢地方気象台(金沢観測点)



指 標	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量	石川コシヒカリ (60kg当たり)単価
	ha	kg	t	円
石川	25,100	519	130,300	15,889
加賀	14,500	540	78,300	
能登	10,600	490	51,900	

注: 石川コシヒカリの価格は、米の相対取引価格(出荷業者・通年平均)である。

作況指数	8月15日	9月15日	10月15日	収穫期
	石川	平年並み	100	100
加賀	平年並み	100	100	100
能登	平年並み	100	100	100

作柄概況	1㎡当たり有効穂数	1穂当たりもみ数	1㎡当たり全もみ数	登熟
	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
石川	穂数は、6月下旬以降高温多照で経過し、生育が概ね順調であったことから平年並みであり、1穂当たりもみ数は平年並みであったことから、全もみ数は平年並みとなった。 登熟は、生育が進み刈取りが早まったことから、8月下旬以降の日照不足の影響が少なく平年並みとなり、作柄は作況指数100となった。			

3 農林業センサスにおける過去1年間に稲を作った田のある農業経営体数と作付面積規模別割合（石川県）

- 過去1年間に稲を作った田のある農業経営体数は、平成17年～27年の間に41%減少しているものの、作付面積が5ha以上の農業経営体は77%増加しています。（図-1）
- 作付面積が5ha以上の農業経営体が占める割合は増加しています。平成27年では7.7%を占めており、全国平均を3.1ポイント上回っています。（図-2）
- 過去1年間に稲を作った田のある農業経営体の作付面積規模別面積割合をみると、平成17年は5ha以上階層が22.3%であったものが、27年では49.7%となっています。特に15ha以上階層の伸びが大きく、3.4倍となっています。一方、3～5ha階層は10%前後で推移しているものの、2～3ha以下の小規模階層の割合が大きく減少しています。（図-3）

図-1 過去1年間に稲を作った田のある農業経営体数の推移（石川県）

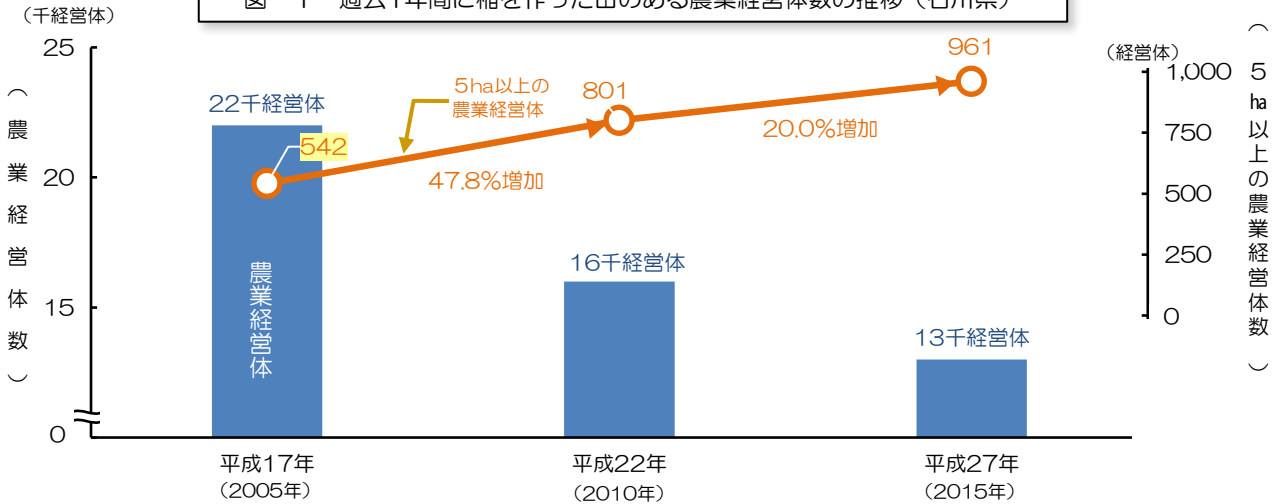


図-2 過去1年間に稲を作った田のある農業経営体のうち作付面積が5ha以上の経営体の割合（石川県）

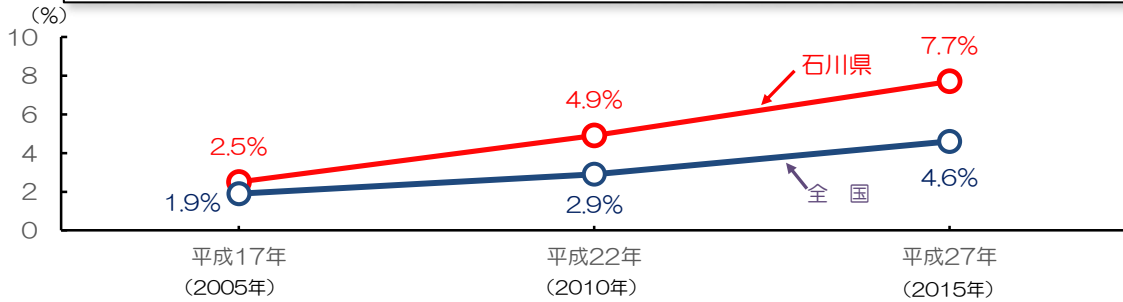
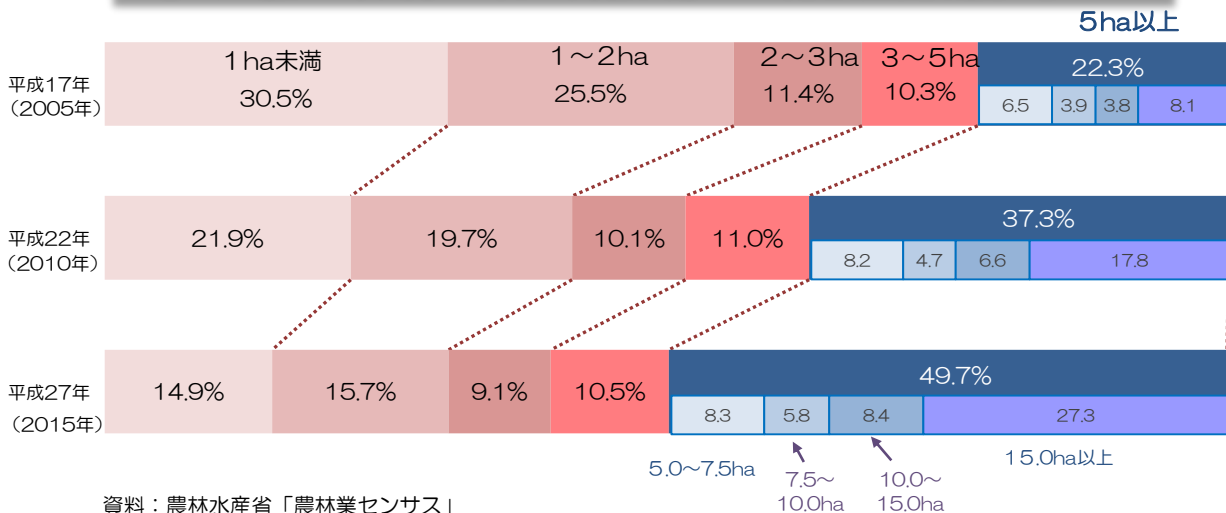


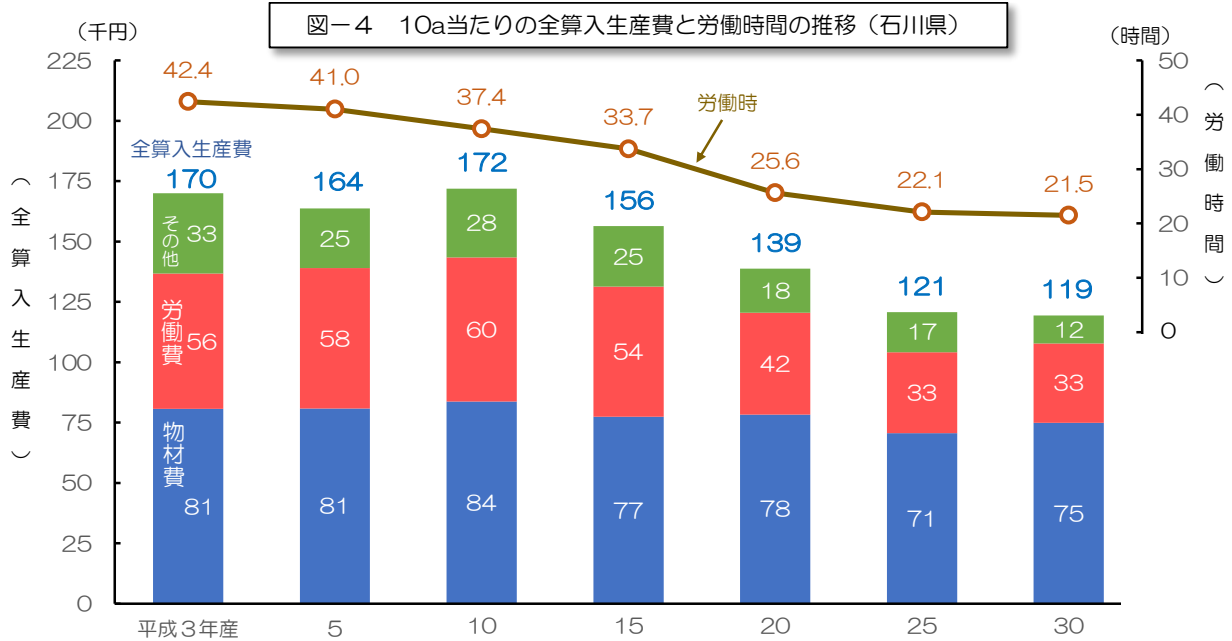
図-3 過去1年間に稲を作った田のある農業経営体の作付面積規模別面積割合（石川県）



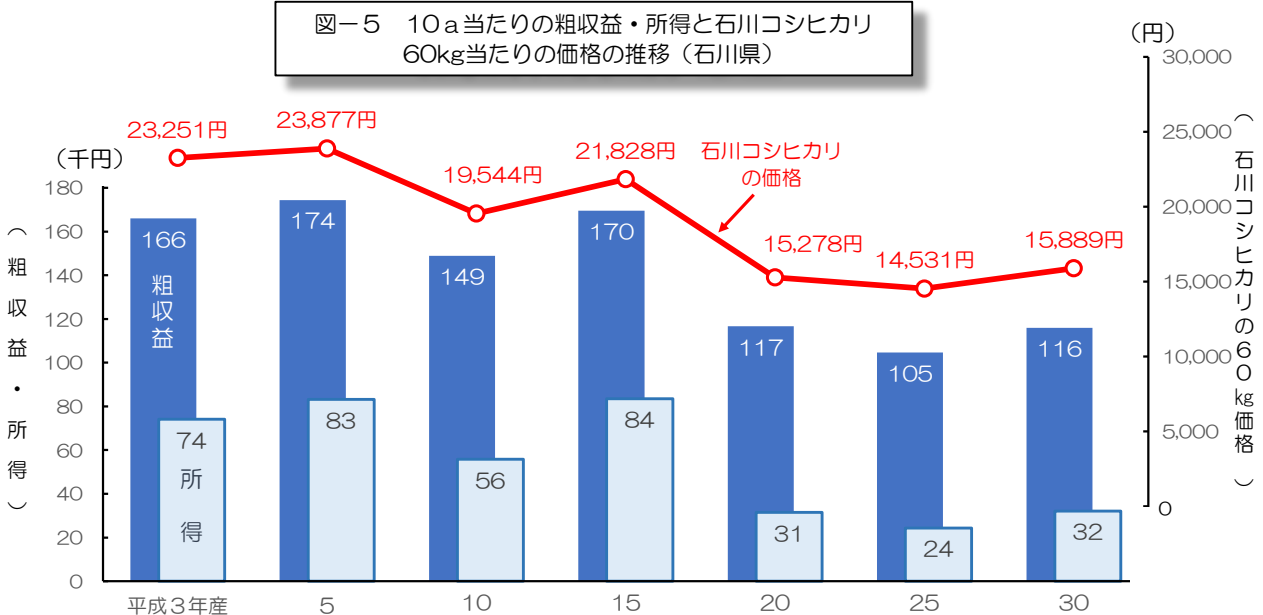
資料：農林水産省「農林業センサス」

4-1 米の経済状況（生産コストと収益）の推移（石川県）

- 米の生産コストである全算入生産費は、平成30年産は11万9千円と、最も高かった10年産の17万2千円から、3割程度減少しています。特に労働費は、効率化が進み労働時間が減少していることから、10年産に比べ45%減少しています。（図-4）
- 物材費は、平成15年産以降7万円台で推移しています。（図-4）
- 粗収益は、平成30年産は11万6千円と最も高かった平成5年産の17万4千円から33%減少しています。同様に石川コシヒカリの価格を平成30年産と5年産で比較すると33%低下しています。（図-5）
- 所得は、平成30年産は3万2千円と、5年産と比較すると6割程度減少し、収益性は低下しています。（図-5）



資料：農林水産省「農産物生産費統計」

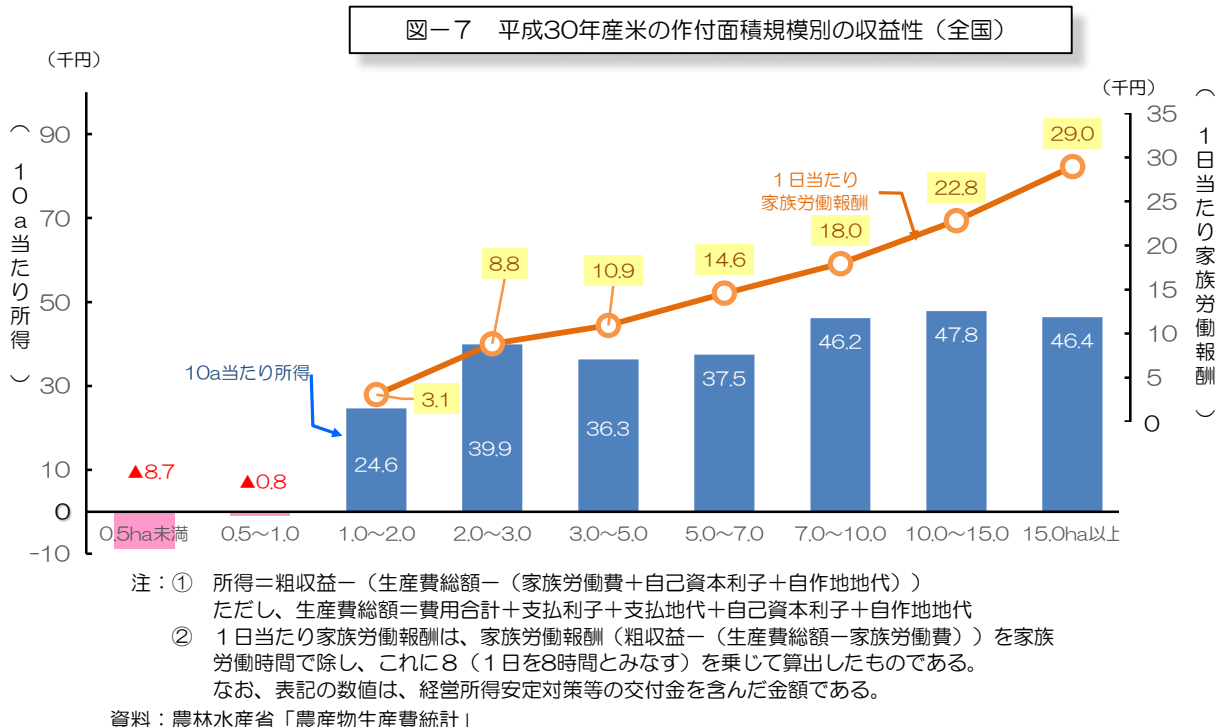
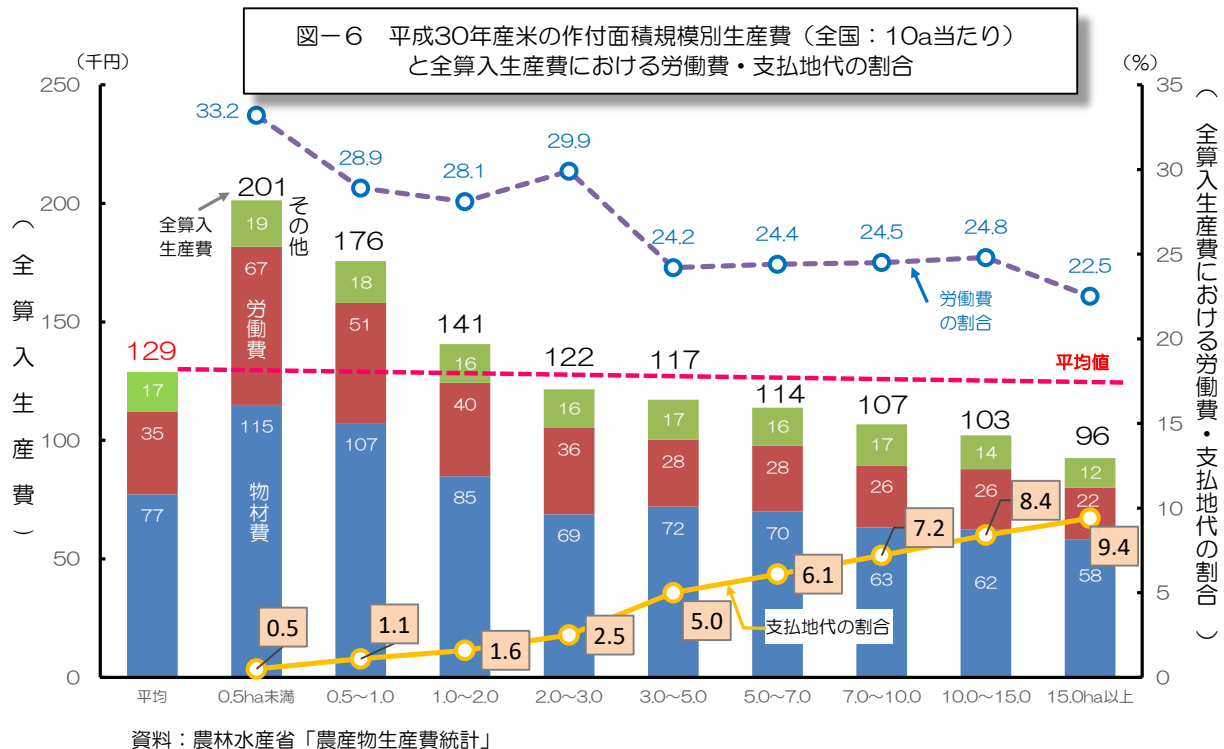


- 注：① 所得＝粗収益－（生産費総額－（家族労働費＋自己資本利子＋自作地代））
ただし、生産費総額＝費用合計＋支払利子＋支払地代＋自己資本利子＋自作地代
② 価格は、石川コシヒカリである。

資料：農林水産省「農産物生産費統計」
農林水産省「米穀の取引に関する報告」

4-2 米の経済状況（作付面積規模別の生産コストと収益）の比較（全国）

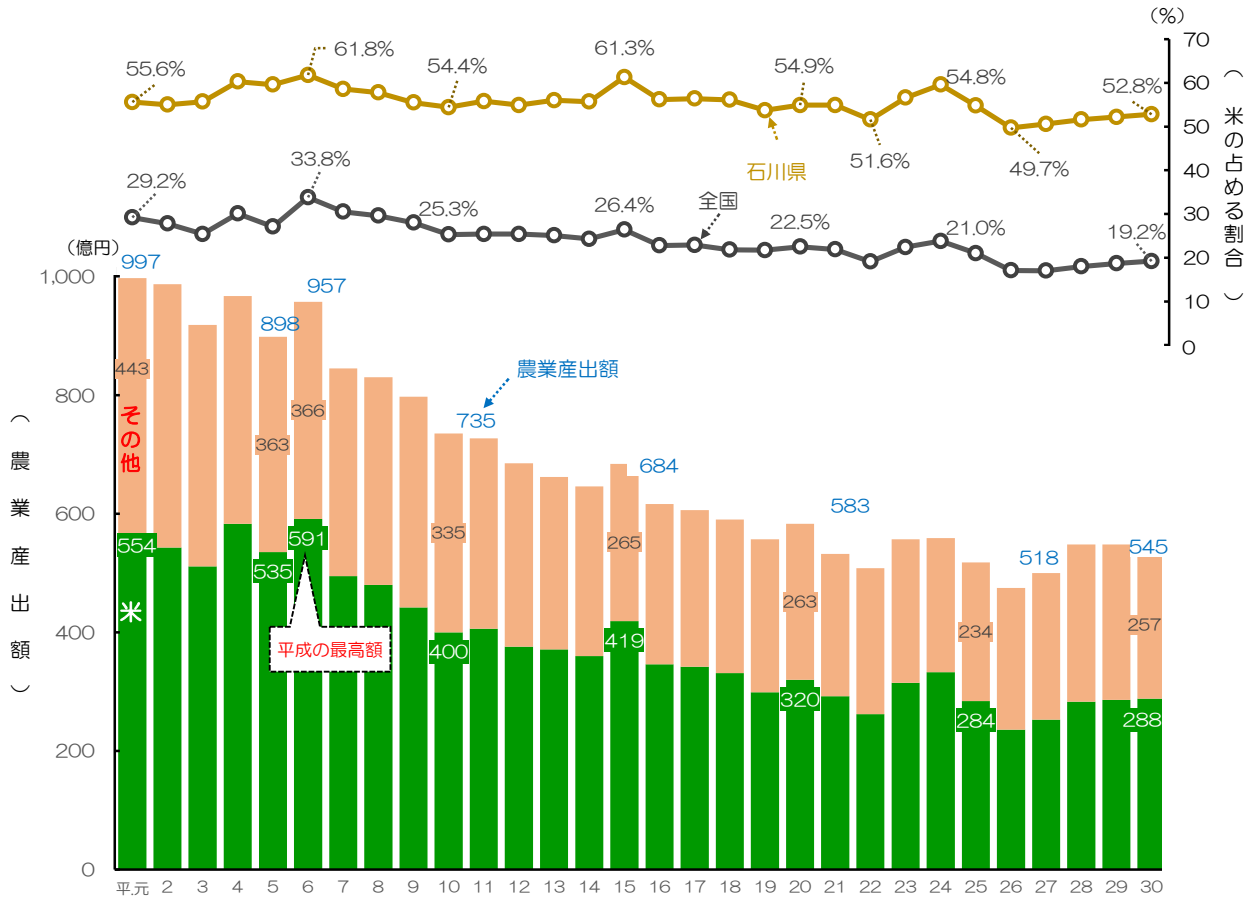
- 全算入生産費を作付面積規模別にみると、規模が大きくなるに従い生産費は減少しており2ha以上の階層においては、生産費は平均を下回っています。（図-6）
- 作付面積規模が大きくなるに従い、支払地代の割合は増加し、3ha以上の階層で大きくなっています。労働費の割合は、3ha未満の階層では30%前後、3ha～15haの階層では24%台、15ha以上の階層では、22%台と小規模階層から大規模階層になるに従い占める割合は小さくなっています。
全算入生産費における労働費と支払地代の割合の合計は、作付面積規模別の各階層において全算入生産費のほぼ3割程度を占めています。（図-6）
- 10a当たりの所得と1日当たりの家族労働報酬は、作付面積規模が拡大するに従い増加しており、規模の大きな階層ほど収益性が向上する傾向にあります。（図-7）



5 米の産出額の推移（石川県）

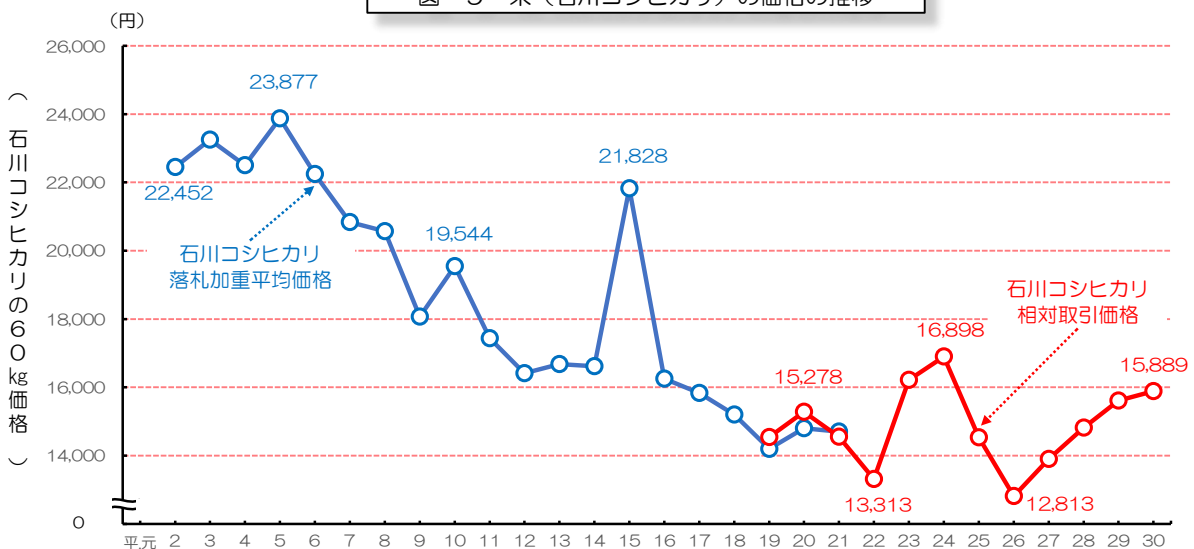
- 平成30年の米の産出額は288億円となり、平成の最高額である平成6年の591億円と比較すると、51%の減少となっています。（図－8）
- 農業産出額に占める米の割合は、平成の初期は6割程度で推移していましたが、米の価格と連動し、平成30年では52.8%となっています。（図－8、図－9）
- 石川県における農業産出額に占める米の割合は、全国平均に比べ3割程度高く推移しています。（図－8）

図－8 農業産出額の推移（石川県）と農業産出額に占める米の割合（全国・石川県）



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

図－9 米（石川コシヒカリ）の価格の推移



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

